

## 2026 年 6 月 25 日 岩手県沖の地震の評価

- 6 月 25 日 07 時 30 分に岩手県沖の深さ約 45 km でマグニチュード(M)7.2 の地震が発生した。この地震により青森県で最大震度 6 強を観測し、負傷者が出るなどの被害を生じた。また、この地震により北海道から東北地方にかけて長周期地震動階級 2 を観測した。  
この地震により、岩手県の久慈港観測点（港湾局）で 0.1 m（速報値）の津波を観測した。
- 発震機構は西北西—東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、発震機構及び震源の深さから太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震と考えられる。
- 今回の地震に伴い、岩手県の KiK-net 九戸（くのへ）観測点で 1,225 gal（三成分合成）など、大きな加速度を観測した。
- G N S S 観測によると、今回の地震に伴って、岩手県の種市観測点が東南東方向に約 2 cm 移動するなど、岩手県北部から青森県にかけて地殻変動が観測された。
- 今回の地震の震央周辺では、同日 20 時 58 分に M4.8（最大震度 4）、6 月 28 日に M6.1（最大震度 5 弱）、7 月 1 日に M6.1（最大震度 4）の地震が発生している。最大震度 1 以上を観測した地震は 6 月 25 日から 7 月 8 日までに 31 回発生するなど、地震活動は継続しており、現状程度の地震活動は当分続くと考えられる。G N S S 観測、地震波を用いた解析から推定される M7.2 の震源断層は破壊開始点付近に広がっている。
- 今回の地震活動域の南東側では、2025 年 11 月 9 日の三陸沖（M6.9）、2026 年 4 月 20 日の三陸沖（M7.7）の地震活動が見られる。これらの一連の地震活動域の東側では、2025 年 11 月 4 日の三陸沖の地震（M5.3）が発生して以降、微動活動が断続的に継続している。  
G N S S 観測によると、4 月 20 日の三陸沖の地震（M7.7）の後、およそ 2 か月間で、岩手県の S 洋野（ひろの）観測点が東南東方向に約 5 cm 変動するなど、岩手県を中心に余効変動と考えられる水平変動が観測されている。余効変動から推定される余効すべりは、4 月 20 日の三陸沖（M7.7）の地震活動域とその西側及び今回の地震活動域の東側で継続していると考えられる。また、その周辺では、繰り返し地震の解析から、非地震性すべりが継続していると考えられる。
- 今回の地震活動は、「平成 6 年（1994 年）三陸はるか沖地震」（M7.6）の震源域の西端付近における最大余震（1995 年 1 月 7 日の M7.2）の震央付近で発生してい

る。なお、今回の地震活動域を含む 2025 年 11 月からの三陸沖から岩手県沖にかけての一連の地震活動域、「平成 6 年（1994 年）三陸はるか沖地震」の震源域及び 2025 年 12 月 8 日の青森県東方沖（M7.5）の地震活動域は、「1968 年十勝沖地震」（M7.9）の震源域内のそれぞれ南部、中部、北部に位置する。

- 今回の地震は、地震調査委員会が「日本海溝沿いの地震活動の長期評価（平成 31 年 2 月 26 日公表）」で想定していた「青森県東方沖及び岩手県沖北部」の領域で発生する「ひとまわり小さいプレート間地震」（M7.0～M7.5 程度）であり、30 年以内に発生する確率はⅢランク（高い）（\*）に該当する。これは、海溝型地震の中では、地震発生確率が最も高いものと位置づけられる。なお、「平成 6 年（1994 年）三陸はるか沖地震」は「青森県東方沖及び岩手県沖北部」の「ひとまわり小さいプレート間地震」とされ、また、「1968 年十勝沖地震」は同領域の「プレート間巨大地震」（M7.9 程度）とされているが、どちらも、30 年以内に発生する確率はⅢランク（高い）に該当する。

\*：海溝型地震における今後 30 年以内の地震発生確率が 26%以上を「Ⅲランク」、3%～26%未満を「Ⅱランク」、3%未満を「Ⅰランク」、不明（すぐに地震が起きることを否定できない）を「Xランク」と表記している。

注：GNS Sとは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。

# 2026年6月25日 岩手県沖の地震

## (1) 概要

2026年6月25日07時30分に岩手県沖の深さ44kmでM7.2の地震が発生し、青森県階上町で震度6強を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度6弱～1を観測した。また、北海道から関東地方にかけて長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、岩手県の久慈港<sup>(注1)</sup>で0.1m、宮古で微弱な津波を観測した<sup>(注2)</sup>。

気象庁はこの地震に対して、地震波検知から4.7秒後の07時30分26.5秒に緊急地震速報（警報）を発表した。

この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

今回の地震の震央周辺では、6月25日以降6月30日までに震度1以上を観測した地震が21回（震度6強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：2回、震度2：1回、震度1：15回）発生するなど、地震活動は継続している。

この地震により、負傷者17人などの被害が生じた（2026年7月6日14時00分現在）。

この地震による被害状況を表1-1に、6月25日以降の最大震度別地震回数表を表1-2に、震度1以上の日別地震回数グラフを図1-1に、主な地震活動の地震回数比較を図1-2に、気象庁及び各地の気象台が発表した主な情報及び報道発表を表1-3及び表1-4に示す。

表1-1 岩手県沖の地震による被害状況<sup>(注3)</sup>  
(2026年7月6日14時00分現在、総務省消防庁による)

都道府県名	人的被害				住家被害		
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損
			重傷	軽傷			
人	人	人	人	棟	棟	棟	
青森県			1	14			45
岩手県			2				8
合計			3	14			53

(注1) 国土交通省港湾局の観測施設。

(注2) 観測値はいずれも速報値であり、後日の精査により変更される場合がある。

(注3) 6月25日07時30分の岩手県沖の地震による被害、及び6月28日05時21分の岩手県沖の地震による被害の両方を含む。

表1-2 4月20日からの三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動の最大震度別地震回数表

震度1以上の最大震度別地震回数表(2026年4月20日16時~7月8日24時)

(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

【令和8年4月20日16時以降の月別発生回数】

月別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
4/20 - 30	27	7	3	0	0	1	0	0	0	0	38	38	16時以降
5/1 - 31	12	3	1	0	0	0	0	0	0	0	16	54	
6/1 - 30	19	3	2	1	1	0	0	1	0	27	81		
7/1 - 8	5	2	2	1	0	0	0	0	0	10	91		
総計	63	15	8	2	1	1	0	1	0		91		

【令和8年6月25日以降の日別発生回数】

時間別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
6/25	8	1	0	1	0	0	0	1	0	11	11		
6/26	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	13		
6/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13		
6/28	3	0	0	0	1	0	0	0	0	4	17		
6/29	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18		
6/30	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	21		
7/1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	23		
7/2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	24		
7/3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	26		
7/4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	27		
7/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27		
7/6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	28		
7/7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	29		
7/8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	31		
総計	20	3	4	2	1	0	0	1	0		31		

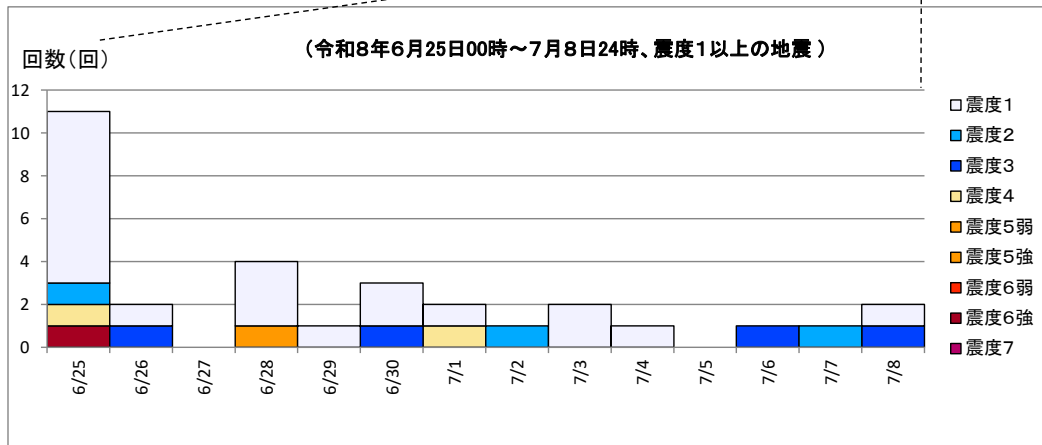
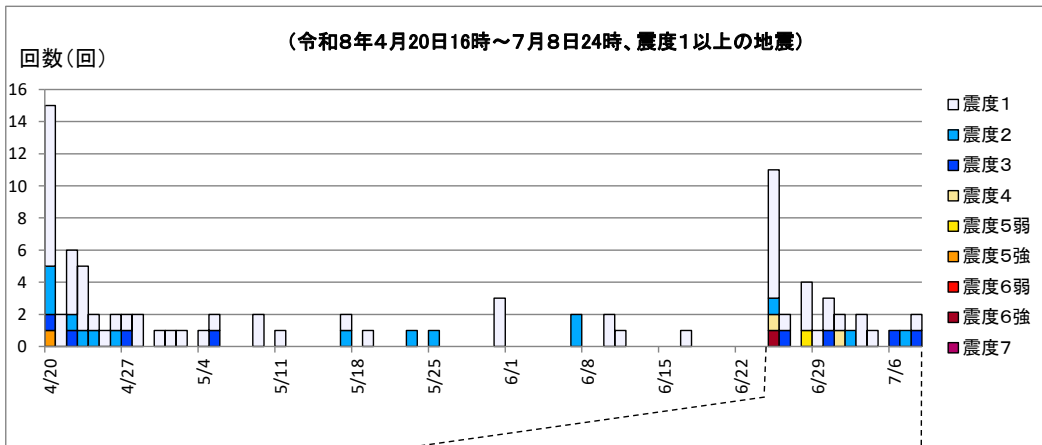


図1-1 4月20日からの三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動の最大震度別地震回数

(2) 地震活動

ア. 地震の発生場所の詳細及び地震の発生状況

6月25日07時30分に岩手県沖の深さ44kmでM7.2(最大震度6強)の地震が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。今回の地震の震央周辺では、2025年11月4日から三陸沖でまとまった地震活動が見られるようになり、2025年11月9日にM6.9の地震(最大震度4)が発生した。また、M6.9の地震の北西側で2026年4月20日にM7.7の地震(最大震度5強)が発生し、地震活動域がさらに北西側に広がった。今回の地震は、これらの活動域の北西端で発生しており、今回の地震の震源付近では、6月28日にM6.1(最大震度5弱)の地震が発生するなど、活発な地震活動は継続している。なお、領域aの北側では、2025年12月8日に青森県東方沖でM7.5(最大震度6強)の地震が発生するなど、地震活動が見られている。

1994年12月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、1995年1月7日にM7.2(最大震度5、「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」の最大余震)の地震が発生している。

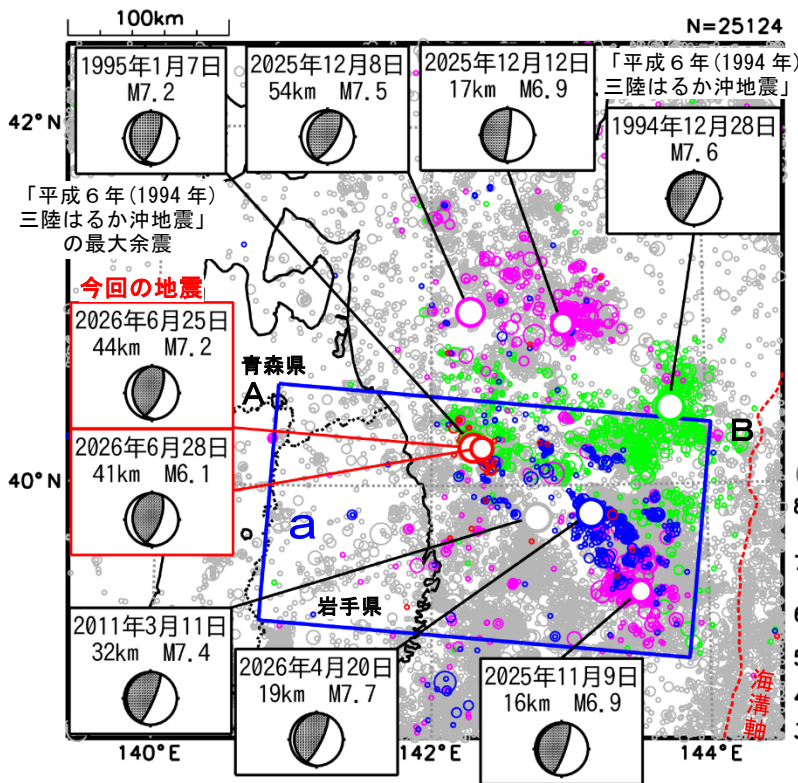


図2-1 震央分布図  
(1994年12月1日~2026年6月30日、深さ0~140km、M $\geq$ 3.0)  
● 1994年12月1日~1995年1月31日  
● 2025年11月1日~2026年4月19日  
● 2026年4月20日~2026年6月24日  
● 2026年6月25日以降  
○ その他の期間  
図中の発震機構はCMT解を示す

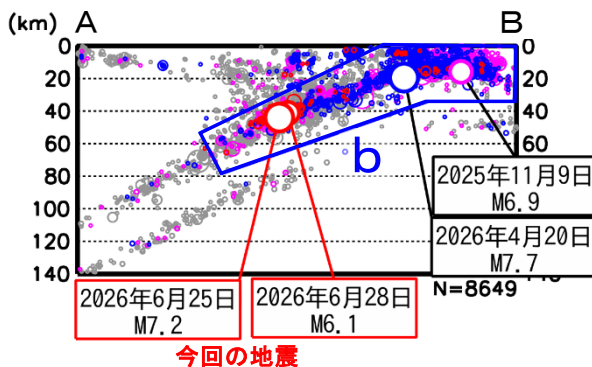


図2-2 領域aの断面図(A-B投影)  
(2020年9月1日~2026年6月30日、深さ0~140km、M $\geq$ 2.0)

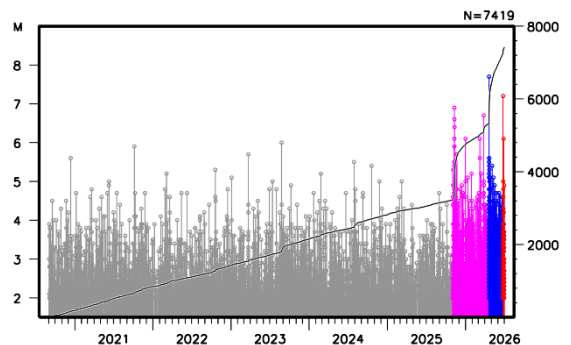


図2-3 領域b内のM-T図  
及び回数積算図

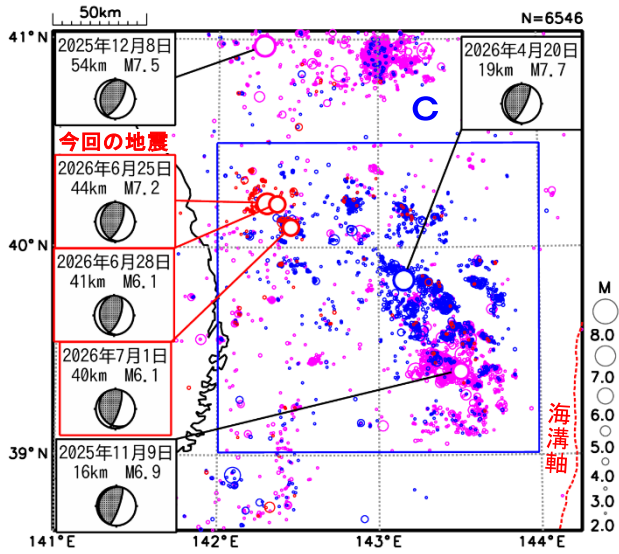


図 2—4 震央分布図  
 (2025年11月1日～2026年7月4日、  
 深さ0～80km、 $M \geq 2.0$ )  
 ● 2025年11月1日～2026年4月19日  
 ● 2026年4月20日～2026年6月24日  
 ● 2026年6月25日以降  
 図中の発震機構はCMT解を示す

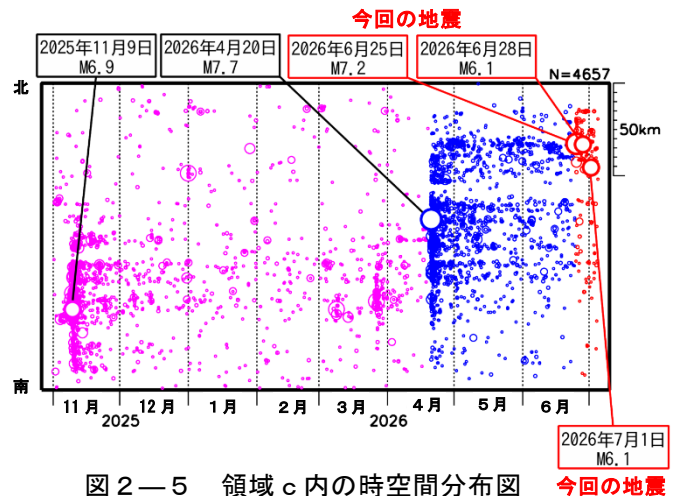


図 2—5 領域 c 内の時空間分布図  
 (南北投影)

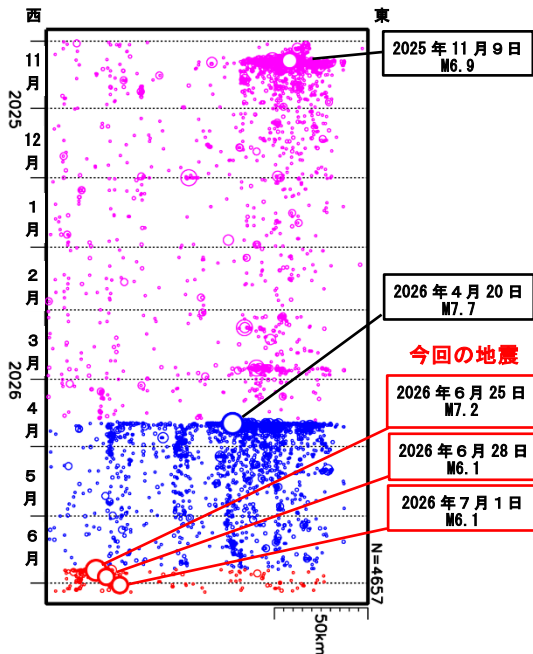


図 2—6 領域 c 内の時空間分布図  
 (東西投影)

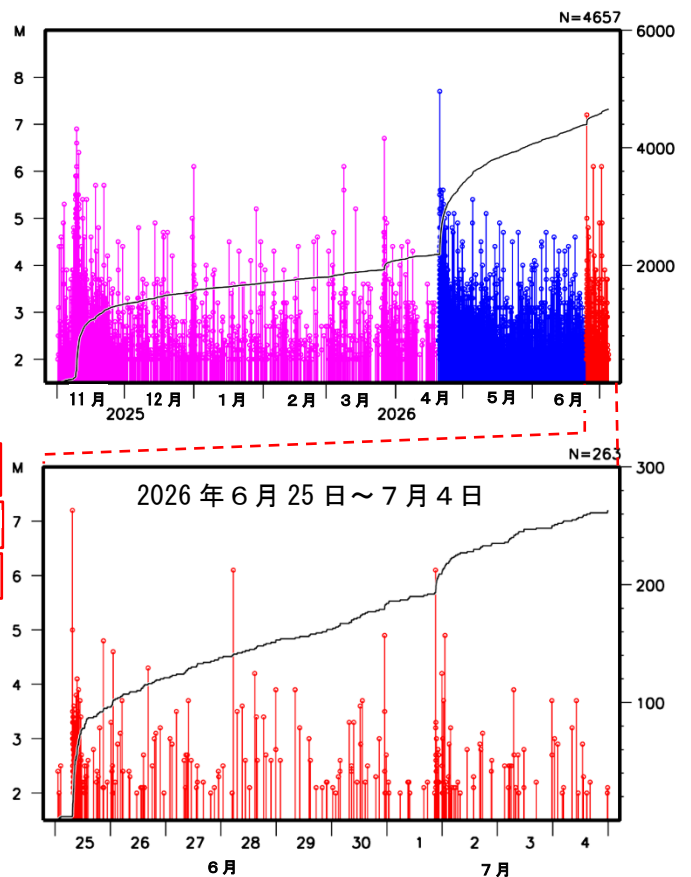


図 2—7 領域 c 内のM-T図及び  
 回数積算図

## イ. 発震機構

1997年10月以降に発生した地震の発震機構（CMT解）分布及び発震機構の圧力軸の分布を図2-8に示す。また、図2-8の領域d内の地震の発震機構の型の分布及び圧力軸の向きの分布を図2-9に示す。

今回の地震の震央付近では、逆断層型の地震が多く見られ、発震機構の圧力軸の向きは西北西-東南東方向の地震が多い。今回の地震（M7.2）は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、これまでの地震の傾向と調和的である。

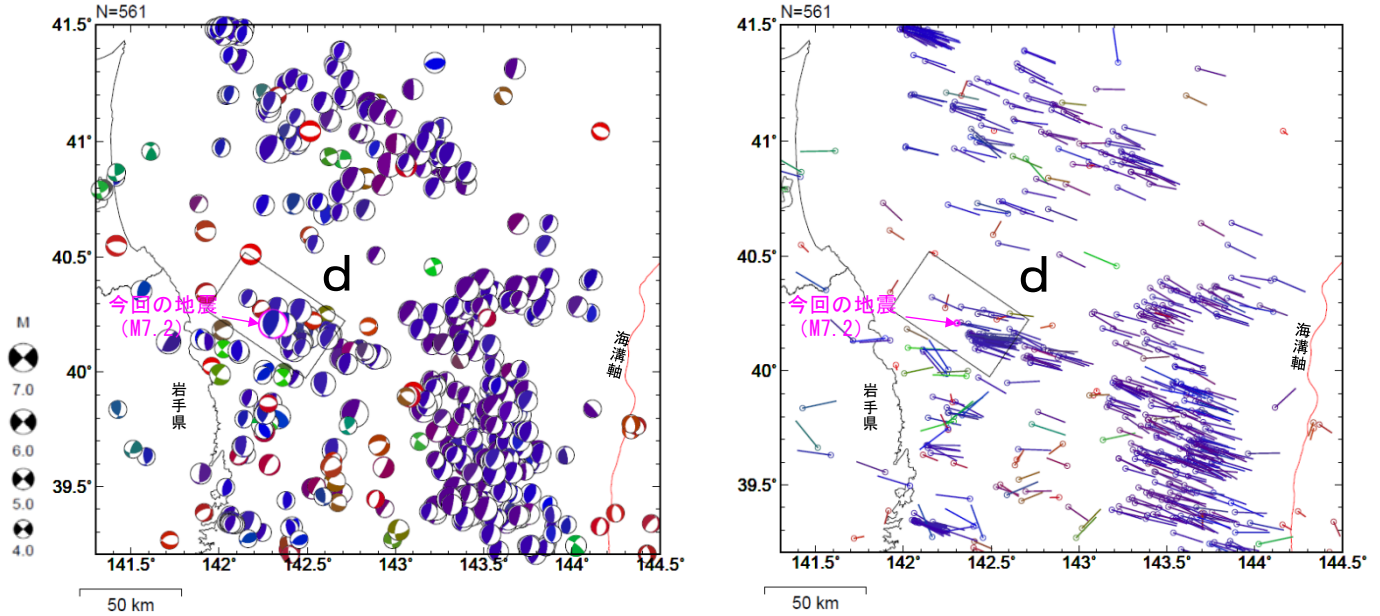


図2-8 発震機構分布図（左）、発震機構の圧力軸の分布（右）

期間：1997年10月1日～2026年6月30日、深さ：0～100km、 $M \geq 4.0$ 、発震機構はCMT解による（震源の位置に表示）。逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich (2001)による分類）。

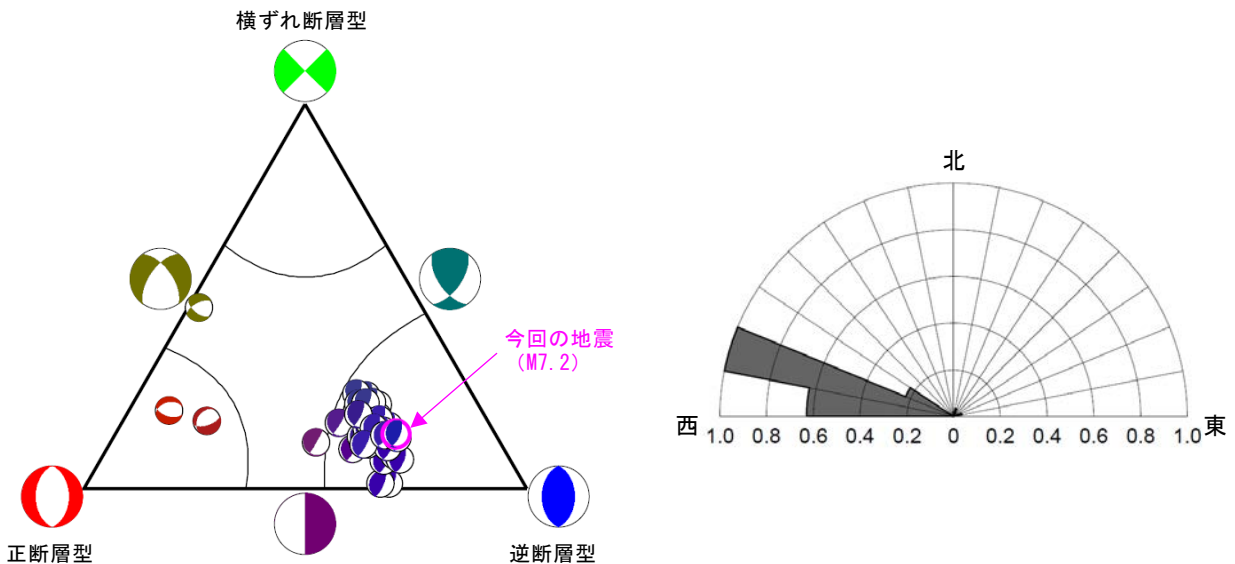


図2-9 図2-8の領域d内の地震の発震機構の型の分布（左）及び発震機構の圧力軸の方位分布（右）  
発震機構の型の分布は、逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich (2001)による分類）。

### (3) 震度と加速度

2026年6月25日07時30分に発生した地震（M7.2）により、青森県階上町で震度6強を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度6弱～1を観測した。この地震の震度分布図及び推計震度分布図を図3-1に、震度5弱以上を観測した地点の計測震度及び最大加速度を表3-1に示す。

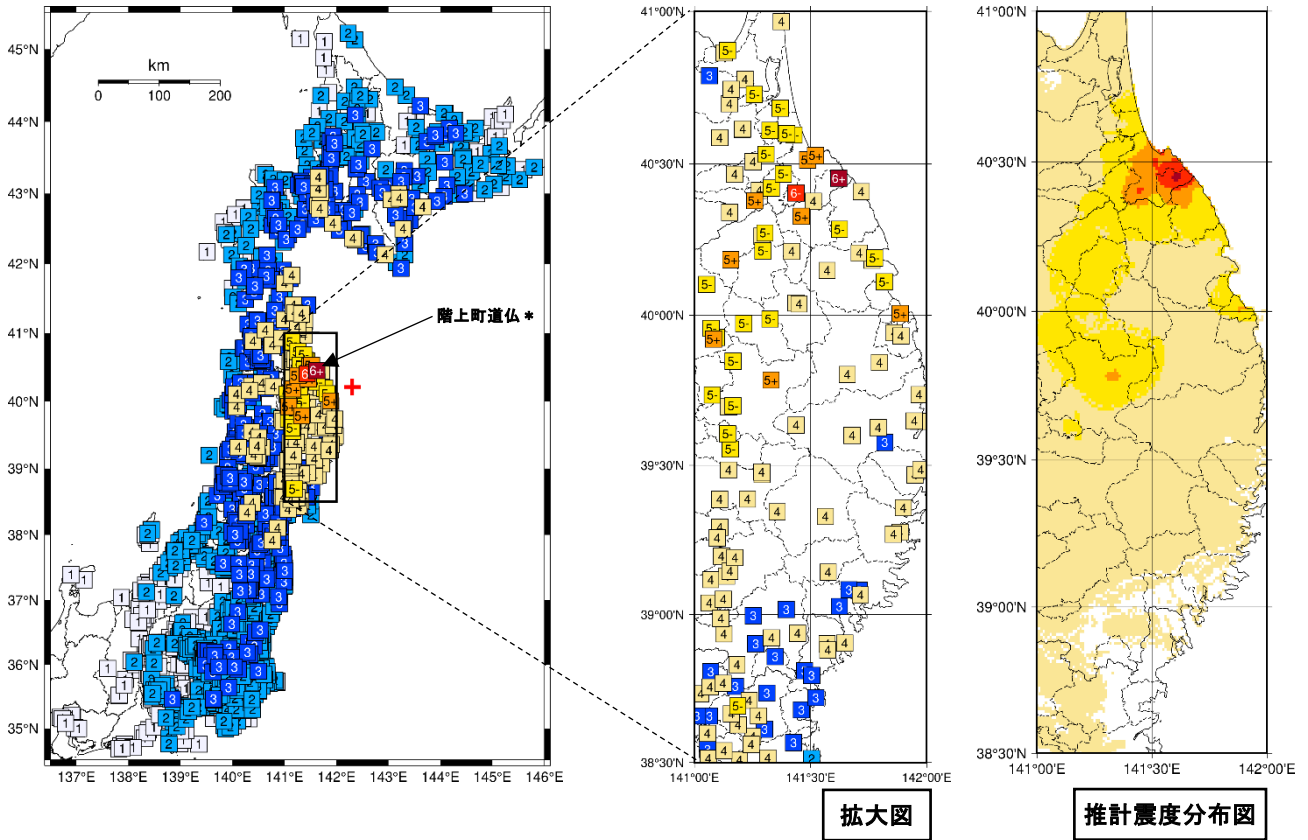


図3-1 2026年6月25日07時30分 岩手県沖の地震（M7.2、最大震度6強）の震度分布図及び推計震度分布図

震度分布図 凡例	
6+	震度6強
6-	震度6弱
5+	震度5強
5-	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

推計震度分布図 凡例	
■	震度6強
■	震度6弱
■	震度5強
■	震度5弱
■	震度4

図中の+印は震央を示す。

観測点名の\*印は、気象庁以外の震度観測点を示す。

※本推計震度分布図は、地震発生当日に作成されたものである。

#### <推計震度分布図について>

地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。

このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

なお、この推計震度分布図は震度の精査後に再作成したものであり、地震発生直後に発表したものとは一部異なる。

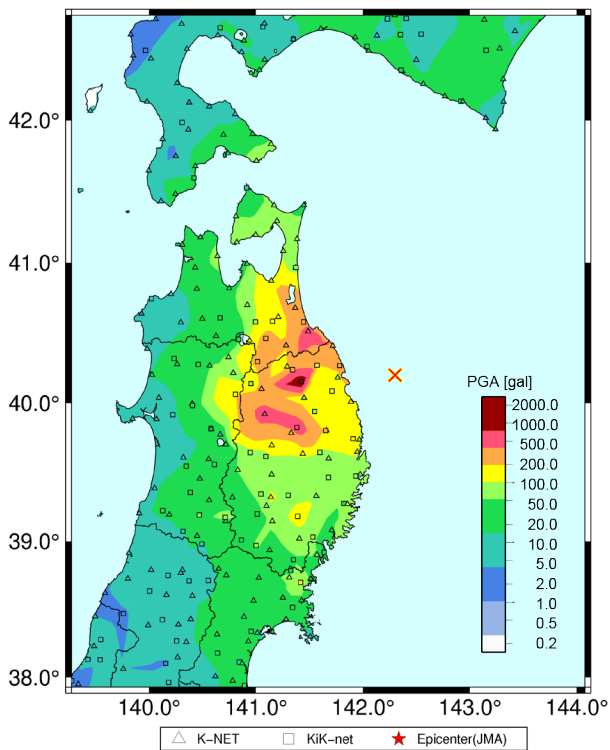
表3-1 2026年6月25日07時30分 岩手県沖の地震（M7.2、最大震度6強）の計測震度及び最大加速度（震度5弱以上）

都道府県	市区町村	観測点名	震度	計測震度	最大加速度 (gal=cm/s/s)				震央距離 (km)
					合成	南北成分	東西成分	上下成分	
青森県	階上町	階上町道仏	6強	6.3	743.0	662.8	626.2	301.8	63.7
青森県	八戸市	八戸市南郷	6弱	5.7	678.5	458.1	645.3	335.0	76.4
青森県	八戸市	八戸市湊町	5強	5.4	818.6	538.7	691.6	340.2	74.9
青森県	八戸市	八戸市内丸	5強	5.2	575.5	560.8	401.4	234.6	76.7
青森県	三戸町	三戸町在府小路町	5強	5.1	394.8	337.4	368.1	114.1	90.4
岩手県	普代村	普代村銅屋	5強	5.4	263.6	105.6	255.8	63.1	42.0
岩手県	盛岡市	盛岡市藪川	5強	5.2	302.5	167.7	275.1	102.9	95.4
岩手県	二戸市	二戸市浄法寺町	5強	5.0	343.5	246.2	271.2	74.7	97.5
岩手県	八幡平市	八幡平市田頭	5強	5.1	542.4	295.5	525.0	133.1	108.8
岩手県	軽米町	軽米町軽米	5強	5.0	456.8	270.8	454.4	99.4	72.6
青森県	三沢市	三沢市桜町	5弱	4.8	329.3	319.3	270.3	101.3	94.8
青森県	野辺地町	野辺地町田狭沢	5弱	4.5	193.6	153.4	177.0	81.6	122.6
青森県	六戸町	六戸町犬落瀬	5弱	4.5	143.9	126.6	72.6	76.1	93.9
青森県	東北町	東北町上北南	5弱	4.5	317.8	275.3	208.9	153.9	105.5
青森県	五戸町	五戸町古館	5弱	4.9	285.6	261.3	228.3	216.9	91.5
青森県	青森南部町	青森南部町苔米地	5弱	4.9	336.7	267.9	308.1	100.1	83.0
青森県	青森南部町	青森南部町平	5弱	4.8	255.5	230.2	223.0	136.5	85.6
青森県	おいらせ町	おいらせ町中下田	5弱	4.7	268.1	180.1	221.9	76.1	88.0
青森県	おいらせ町	おいらせ町上明堂	5弱	4.5	130.7	103.2	112.6	76.8	85.5
岩手県	久慈市	久慈市川崎町	5弱	4.5	128.6	91.3	115.7	75.8	44.7
岩手県	野田村	野田村野田	5弱	4.9	155.2	132.3	128.6	52.3	42.6
岩手県	岩手洋野町	岩手洋野町大野	5弱	4.5	297.3	253.4	247.9	106.4	58.1
岩手県	盛岡市	盛岡市山王町	5弱	4.5	122.3	96.2	112.3	34.5	112.3
岩手県	盛岡市	盛岡市渋民	5弱	4.7	207.4	206.2	168.3	88.3	104.8
岩手県	二戸市	二戸市福岡	5弱	4.6	166.8	139.1	162.3	79.6	85.1
岩手県	葛巻町	葛巻町葛巻元木	5弱	4.6	241.3	222.4	197.3	45.7	86.7
岩手県	岩手町五日市	岩手町五日市	5弱	4.5	178.3	157.2	152.2	114.6	96.4
岩手県	一戸町	一戸町高善寺	5弱	4.9	274.3	227.9	240.0	105.9	85.5
岩手県	八幡平市	八幡平市大更	5弱	4.6	164.9	128.5	118.5	63.8	107.5
岩手県	八幡平市	八幡平市叭田	5弱	4.5	220.0	217.5	138.9	54.0	107.0
岩手県	八幡平市	八幡平市野駄	5弱	4.7	167.8	166.2	98.6	62.4	108.5
岩手県	矢巾町	矢巾町南矢幅	5弱	4.7	131.6	115.0	127.5	49.4	119.6
岩手県	紫波町	紫波町紫波中央駅前	5弱	4.5	125.8	97.7	104.1	38.6	122.0
岩手県	滝沢市	滝沢市鶴飼	5弱	4.5	121.8	114.1	116.5	38.4	117.0
宮城県	登米市	登米市迫町	5弱	4.6	81.3	67.0	76.3	24.5	193.9

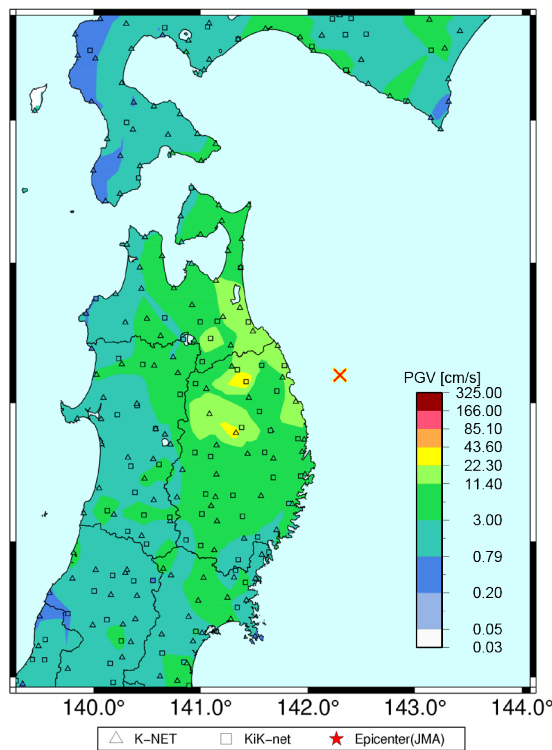
2026年6月25日7時30分, 深さ44 km, M7.2 (気象庁による)

K-NET・KiK-netで記録された最大の地表最大加速度は  
KiK-net九戸 (IWTH12) 観測点 (岩手県九戸村) での  
1225 gal (三成分合成値)

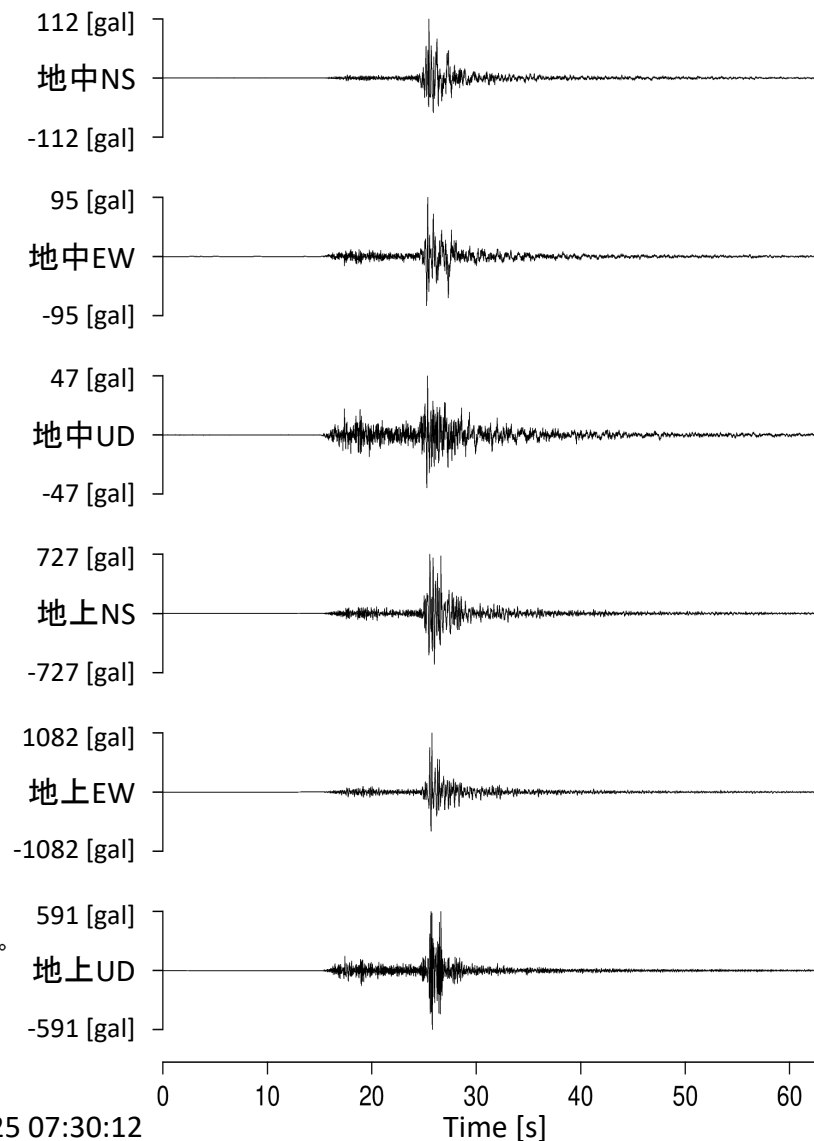
地表最大加速度



地表最大速度



KiK-net九戸での加速度波形

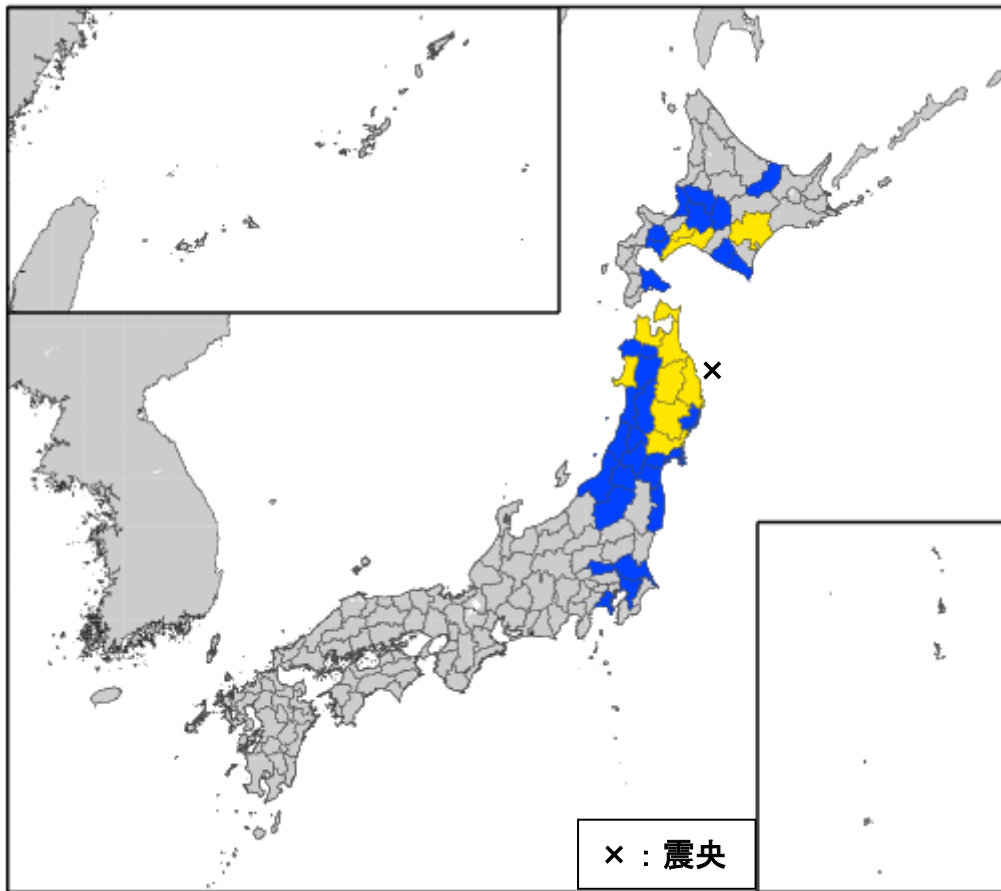


2026/06/25 07:30:12

(4) 長周期地震動

ア. 観測した長周期地震動階級

この地震により、北海道から関東地方にかけて長周期地震動階級 2～1 を観測した (図 4-1、表 4-2)。



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

図 4-1 長周期地震動階級 1 以上を観測した地域の分布図

表 4-1 長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報 (防災編)」令和 7 年 12 月号の付録 10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202512/202512furoku\\_10.pdf](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202512/202512furoku_10.pdf)

## (7) 津波

この地震により、岩手県の久慈港（国土交通省港湾局）で0.1m、宮古で微弱な津波を観測した。なお、気象庁はこの地震に対して、6月25日07時39分に北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸及び岩手県に津波予報（若干の海面変動）を発表した。津波観測値(速報値)は以下のとおり。

表 7-1 津波観測値（2026年6月25日、速報値）

都道府県	観測点名	所属	第一波			最大波			
			到達時刻			発現時刻			高さ [m]
			日	時	分	日	時	分	
岩手県	宮古	気象庁	識別不能			25	10	42	微弱
	久慈港	国土交通省港湾局	識別不能			25	09	27	0.1m

所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。  
観測値は速報値であり、後日の精査により変更される場合がある。

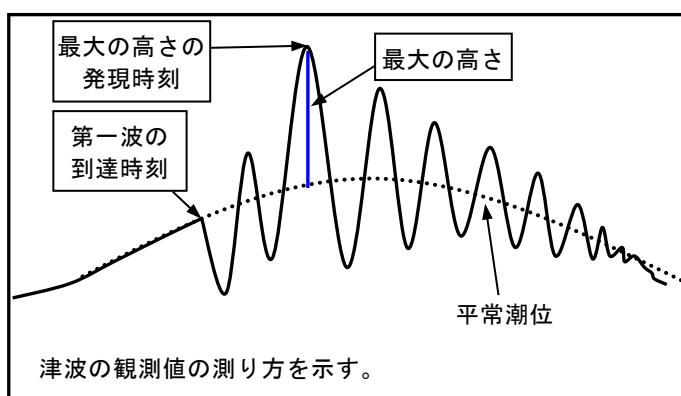


図 7-1 津波の測り方の模式

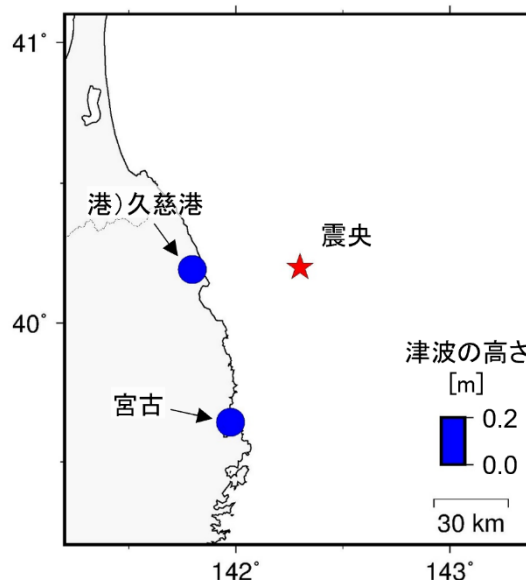


図 7-2 津波を観測した地点  
久慈港)は国土交通省港湾局の所属であることを示す。

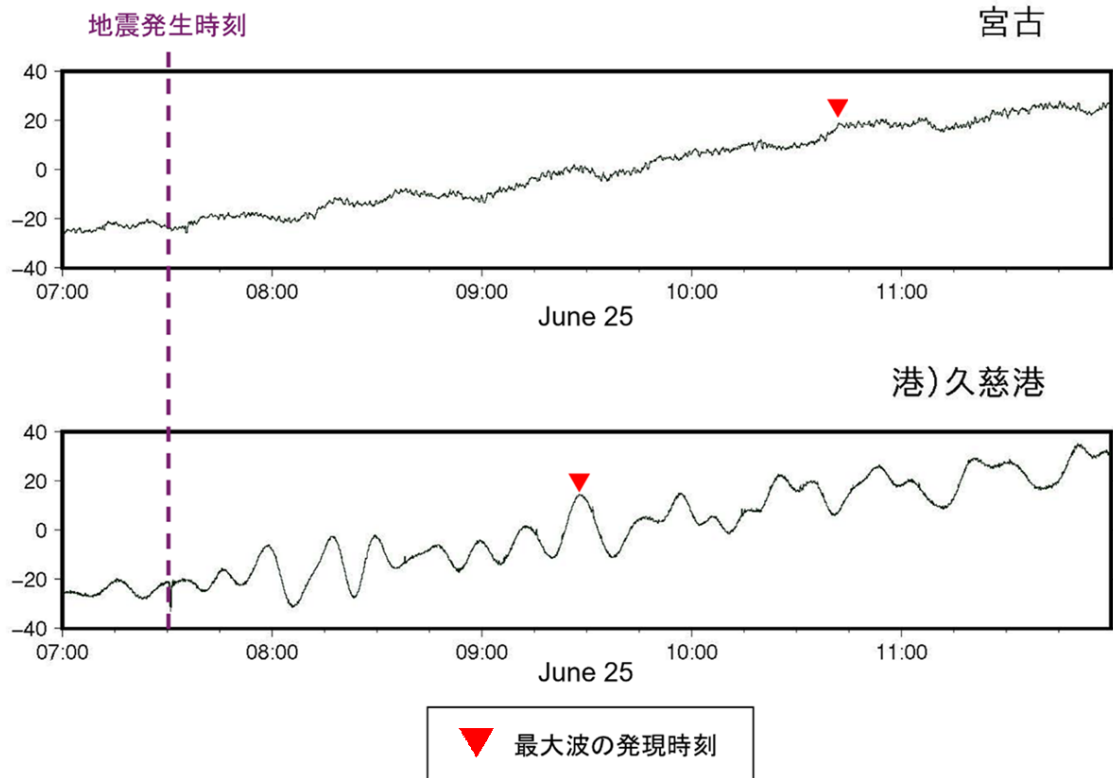


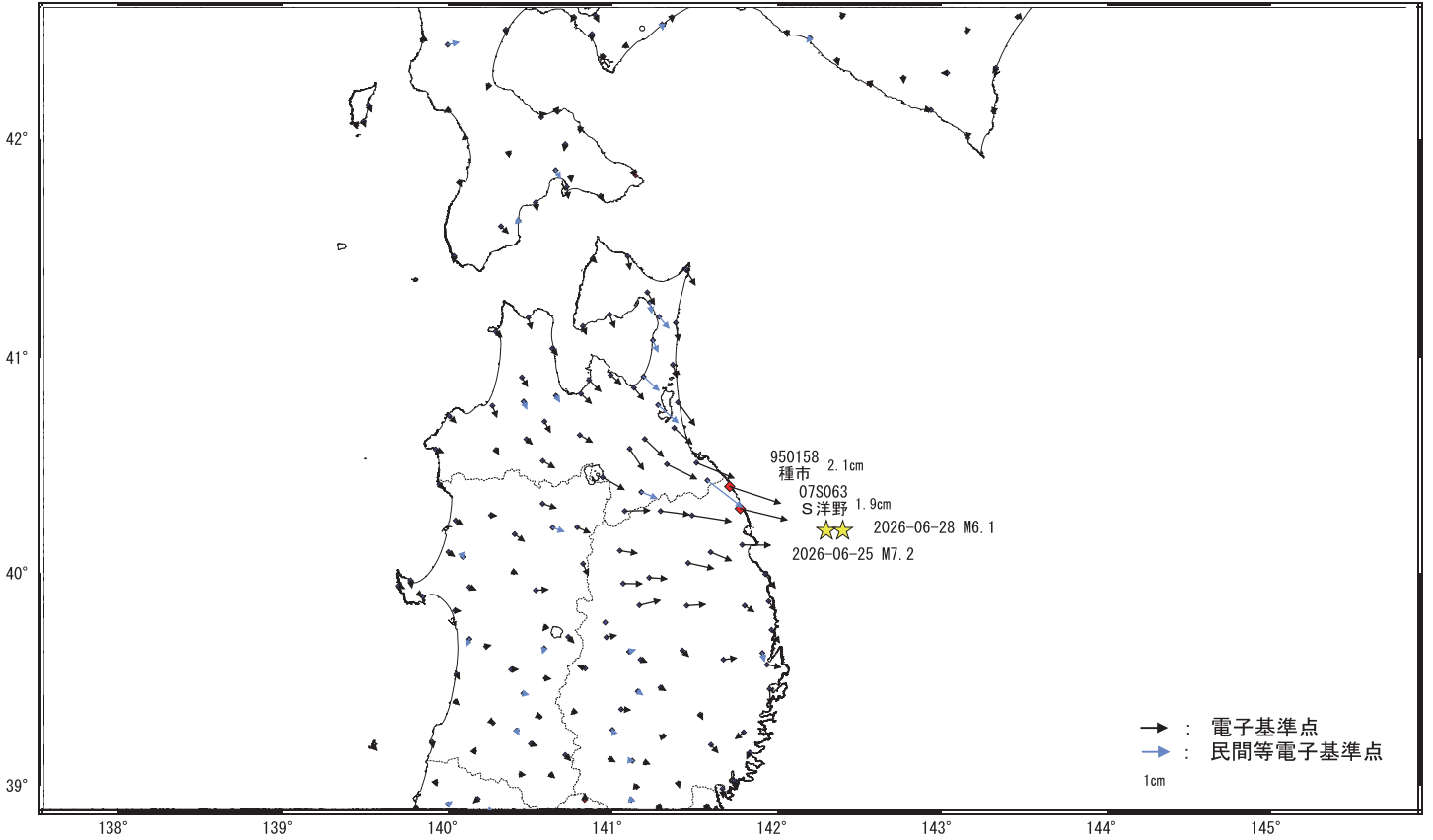
図7-3 津波波形（2026年6月25日07時から12時まで）  
 縦軸の単位はcm。港)は国土交通省港湾局の所属であることを表す。

# 岩手県沖の地震(6月25日 M7.2)前後の観測データ(暫定)

この地震に伴い地殻変動が観測された。

地殻変動(水平)

基準期間: 2026-06-22~2026-06-23 [R5.1:速報解]  
比較期間: 2026-06-26~2026-06-27 [R5.1:速報解]



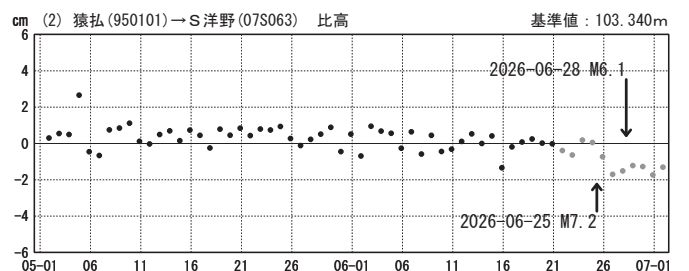
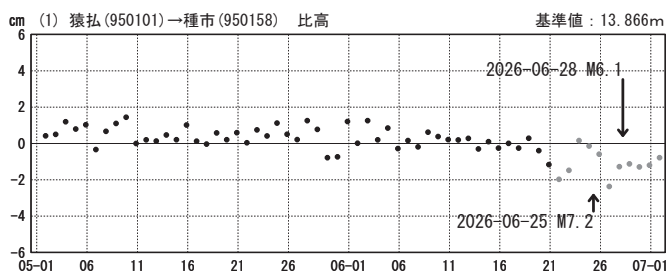
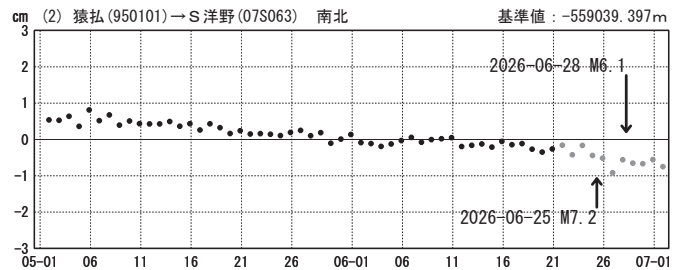
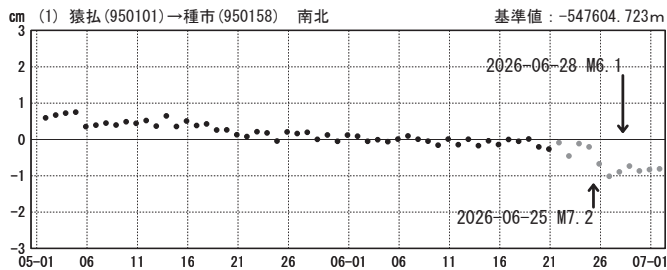
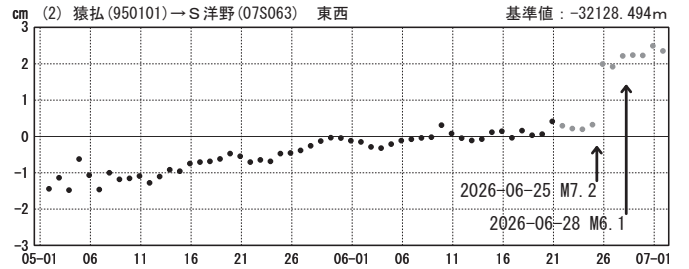
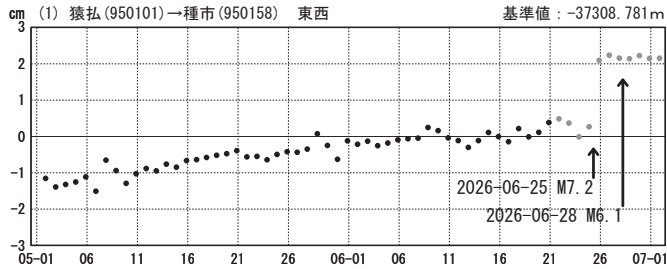
★震央 ◆観測局(グラフ表示)  
☆固定局: 猿払(950101)(北海道)

※民間等電子基準点: 株式会社NTTドコモ

## 成分変化グラフ

期間: 2026-05-01~2026-07-01 JST

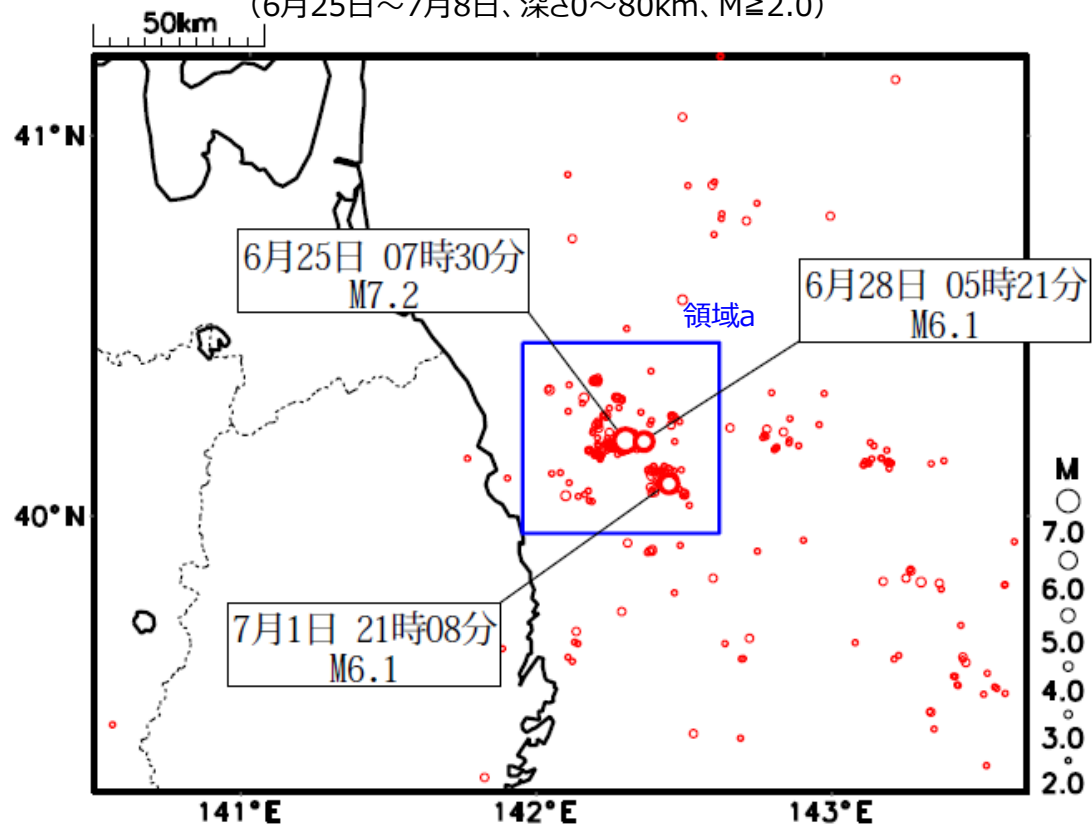
期間: 2026-05-01~2026-07-01 JST



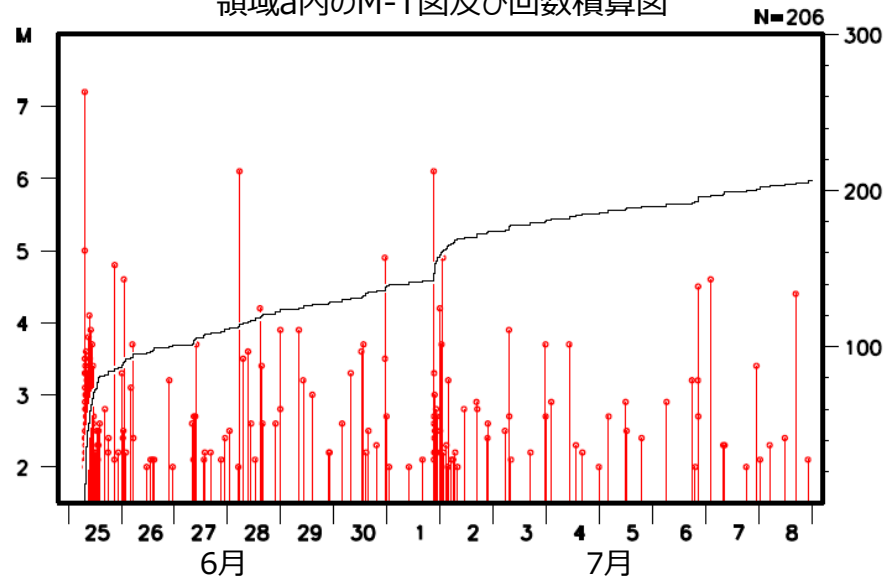
●---[F5.1:最終解] ●---[R5.1:速報解]

# 岩手県沖の地震活動（6月25日以降）

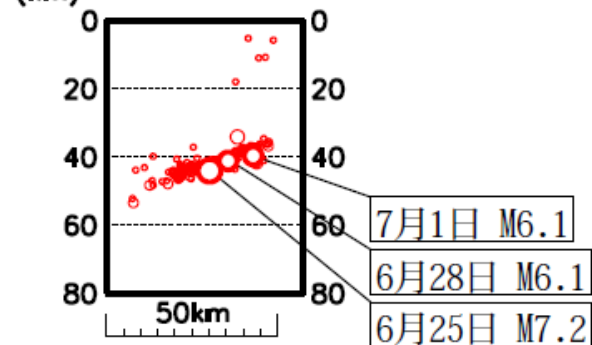
震央分布図  
(6月25日～7月8日、深さ0～80km、 $M \geq 2.0$ )



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域a内の断面図



# 岩手県沖の地震（6月25日 M7.2）の震源断層モデル（暫定）

- ・ 基準期間：2026年6月17日 09:00—2026年6月24日 08:59 JST（速報（R5.1）解）
- ・ 比較期間：2026年6月25日 09:00—2026年6月28日 08:59 JST（速報（R5.1）解）
- ・ 固定局：猿払（950101）

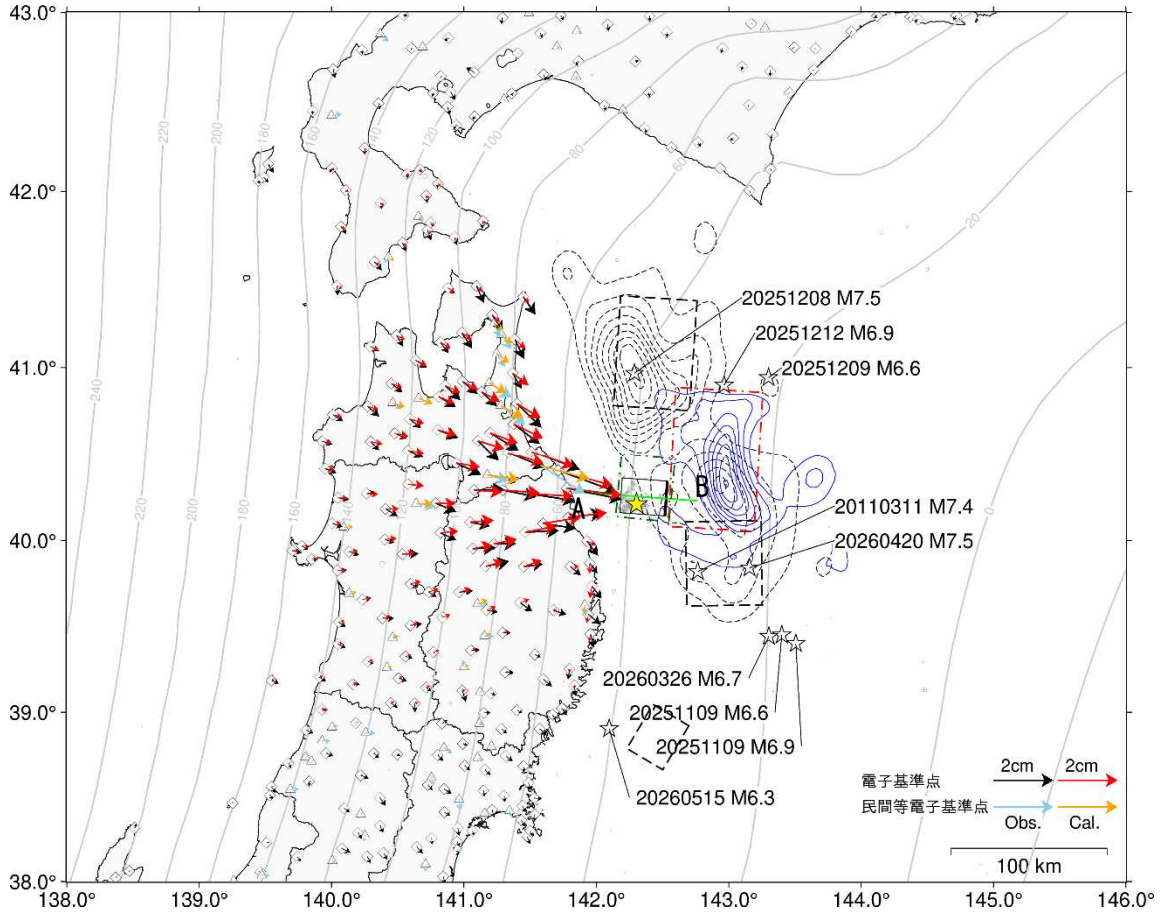


図1 推定された震源断層モデル。矩形実線は震源断層モデルを地表に投影した位置で、太い実線が断層上端。黒及び赤色の矢印はそれぞれ電子基準点の水平方向の観測値及び計算値。水色及びオレンジ色の矢印はそれぞれ民間等電子基準点\*の水平方向の観測値及び計算値。黒等値線は1968年十勝沖地震、青等値線は平成6年（1994年）三陸はるか沖地震のアスペリティ（永井・他，2001）。黒破線の四角は、令和7年12月8日に発生した青森県東方沖の地震、令和8年4月20日に発生した三陸沖の地震及び令和8年5月15日に発生した宮城県沖の地震の矩形断層モデル。赤破線の四角は、平成6年（1994年）三陸はるか沖地震の矩形断層モデル。緑破線の四角は、平成7年1月7日に発生した平成6年（1994年）三陸はるか沖地震の最大余震の矩形断層モデル。黄色の☆印は今回の地震の震央、白抜きの星印は過去の地震の震央、点の本震発生以降から6/26 23:59までに発生した震源（気象庁一元化震源を使用）。

\* 民間等電子基準点：株式会社NTTドコモ

表1 推定された震源断層モデルパラメータ

緯度 [°]	経度 [°]	上端深さ [km]	長さ [km]	幅 [km]	走向 [°]	傾斜 [°]	すべり角 [°]	すべり量 [m]	M <sub>w</sub>
40.343 (0.054)	142.537 (0.087)	28.65 (8.10)	22.3 (4.5)	33.6 (1.3)	184.2 (13.6)	30.1 (7.9)	78.5 (16.1)	0.85 (0.16)	6.87 (0.08)

- ・ VRは77.8%。
- ・ マルコフ連鎖モンテカルロ（MCMC）法を用いてモデルパラメータを推定した。
- ・ 位置は断層の左上端を示す。括弧内は誤差（1σ）を示す。
- ・ M<sub>w</sub>と断層長さ・断層幅の関係をスケーリング則（Strasser et al. 2010）で拘束。
- ・ M<sub>w</sub>の計算においては、剛性率を40 GPaと仮定。

2026年6月25日7時30分頃に岩手県沖で発生した地震（Mj 7.2; 気象庁）について、強震波形記録を用いた震源イメージング解析を行った。

- 記録：K-NET・KiK-net・F-netの15観測点における速度波形三成分のS波部分（0.08–0.8 Hz）
- 解析手法：マルチタイムウィンドウ線形波形イメージング  
（小断層3 km × 3 km、1.0秒幅のタイムウィンドウを0.5秒ずらして5個並べる）
- 断層面設定：走向175°・傾斜22°（F-net解による）、大きさ33 km × 27 km、破壊開始点はHi-net震源位置  
\*ここで設定した断層面は解析の都合上仮定したものであり、必ずしも実際の断層面を反映しているわけではないことに留意
- 推定結果： $M_0=1.8 \times 10^{19}$  Nm ( $M_w$  6.8)、最大すべり量1.4m、Vftw 4.4 km/s  
主たる破壊は破壊開始点付近に集中し、主に西に伝播した。

図1：観測点の分布と断層面の地表投影。星印は破壊開始点を示す。

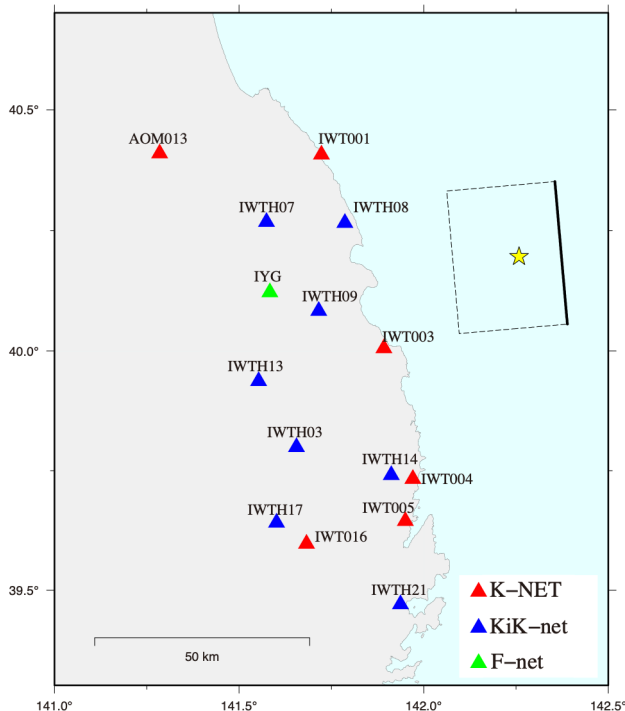
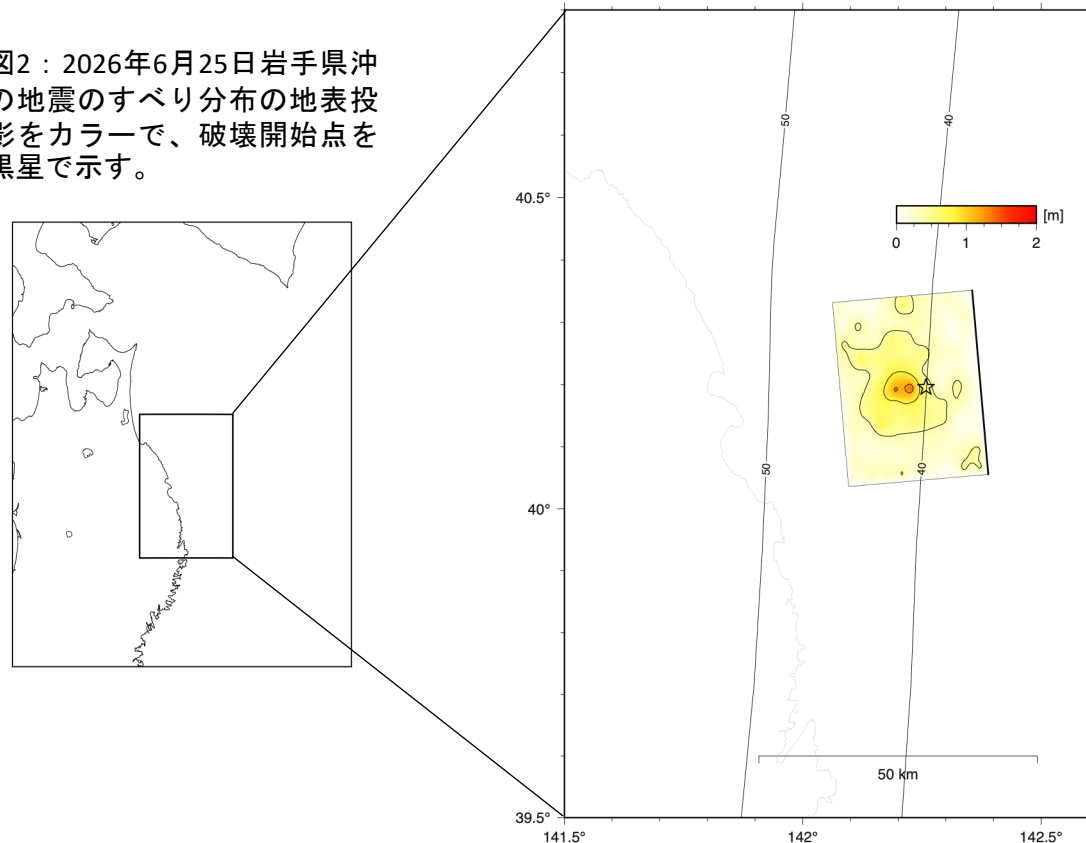


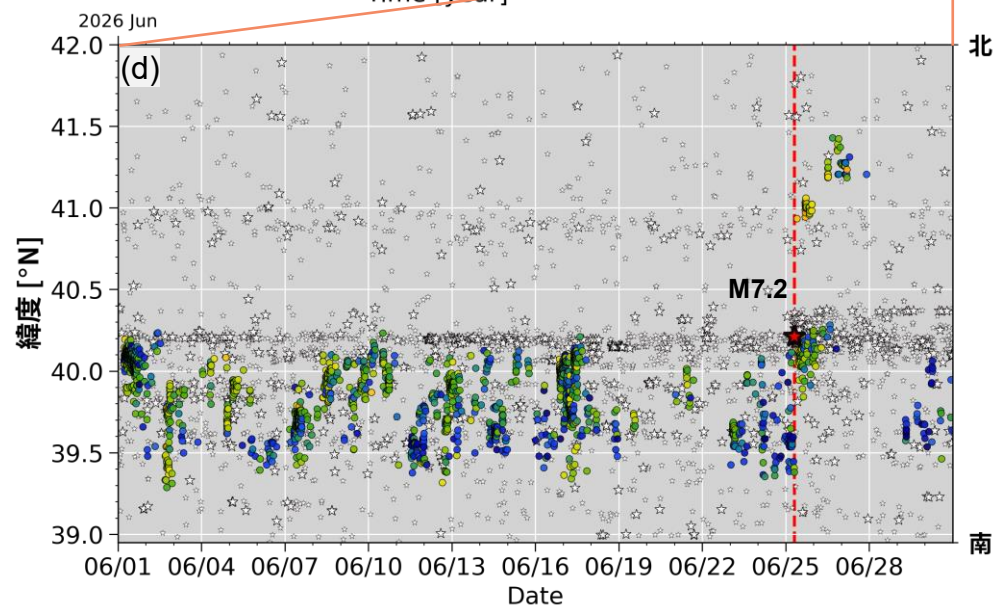
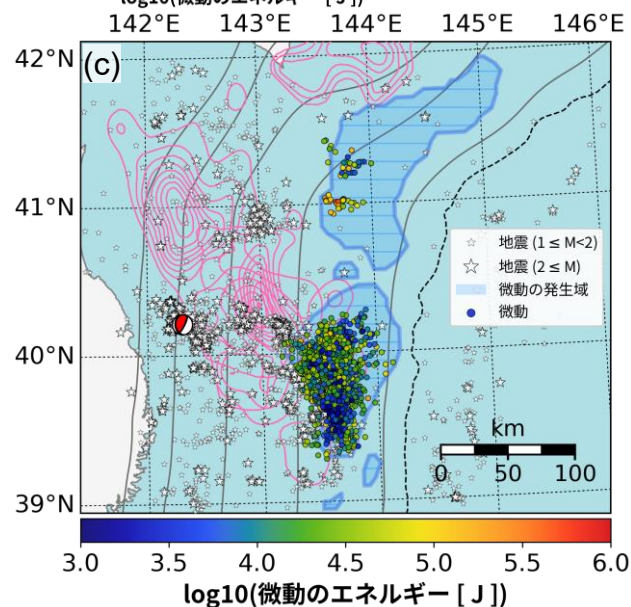
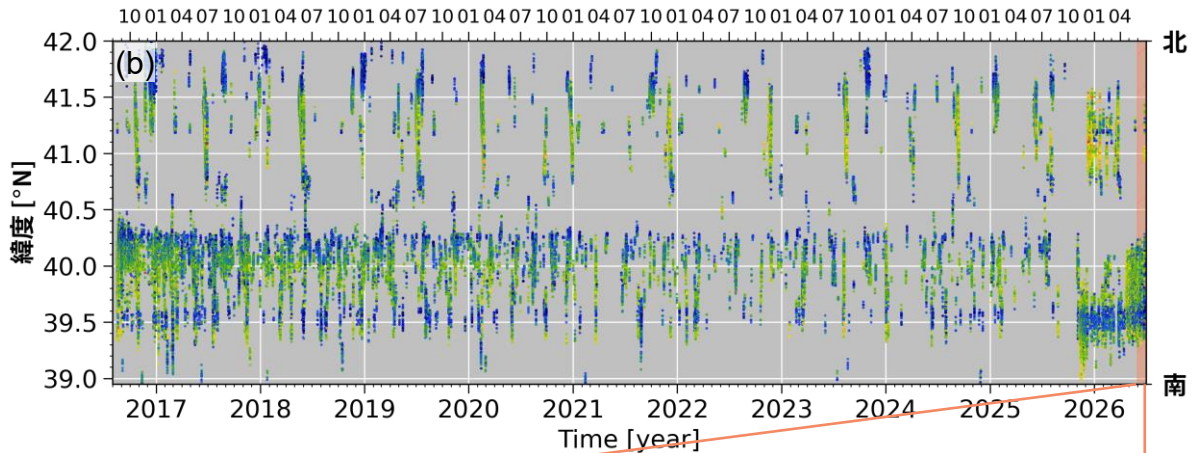
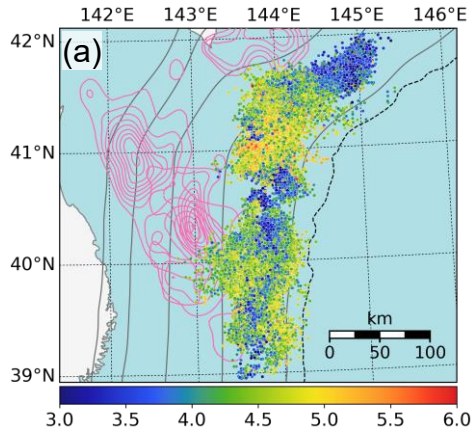
図2：2026年6月25日岩手県沖の地震のすべり分布の地表投影をカラーで、破壊開始点を黒星で示す。





# 2026年6月の日本海溝北部における微動活動

- 三陸沖で4月20日のM7.7の地震後から継続する微動活動を観測
- 6月25日のM7.2の地震以降、青森沖で微動活動を観測



(a-b) 2016/08/15から2026/06/30までの微動分布  
 (c-d) 2026/06/01から2026/06/30までの微動分布  
 ※ Sagae et al. (2025) の手法で解析した

謝辞: 2026/06/01-2026/06/30 までの気象庁一元化震源カタログを使用しました。防災科学技術研究所S-netの地震波形データ、F-net Project による広帯域地震波形を用いたメカニズム解析結果を使用しました。文部科学省「情報科学を活用した地震活動・地震動評価技術の高度化事業」(JPJ013735)の助成を受けたものです。記して感謝申し上げます。

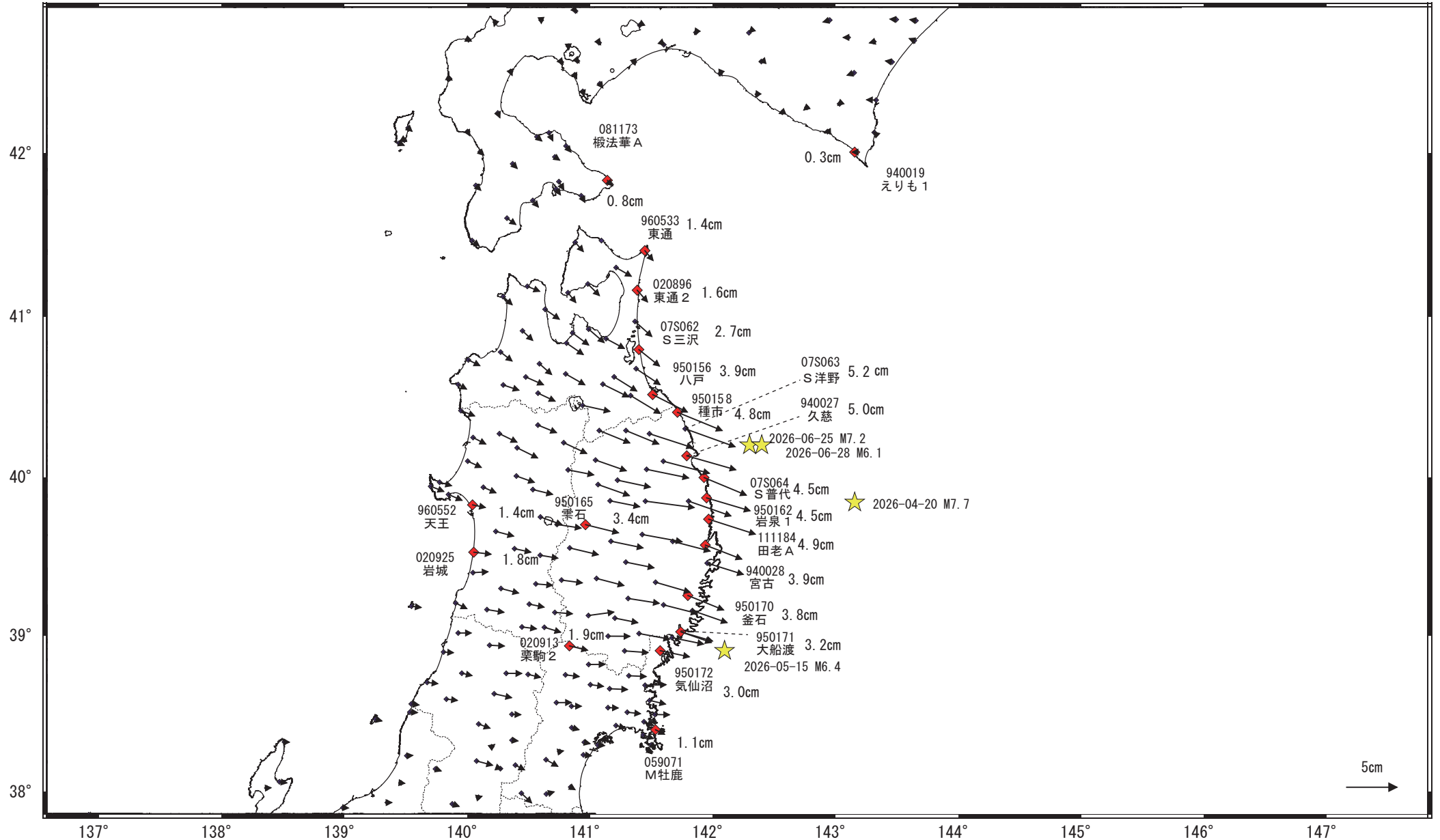
# 三陸沖の地震(4月20日 M7.7)後の観測データ(暫定)

この地震に伴い余効変動が観測されている。

地殻変動(水平)

基準期間:2026-04-21~2026-04-21[F5.1:最終解]

比較期間:2026-06-29~2026-07-01[R5.1:速報解]



★震央 ◆観測局(グラフ表示)

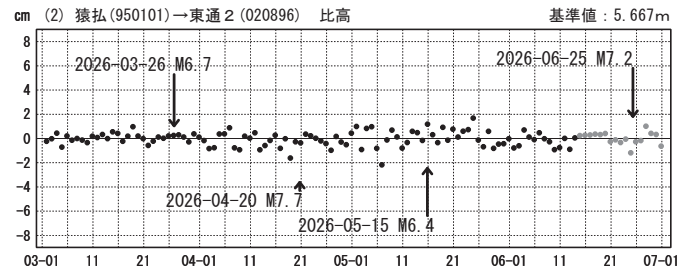
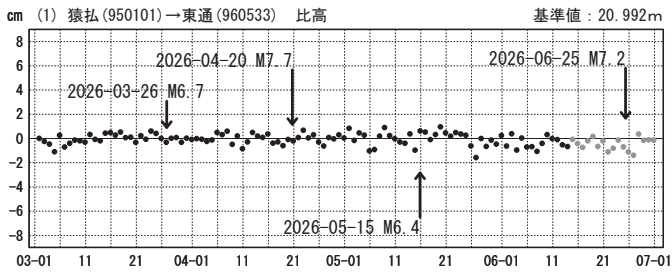
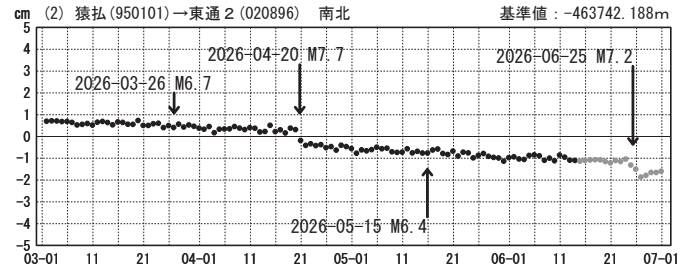
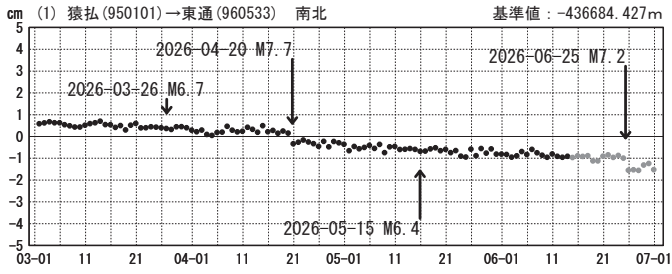
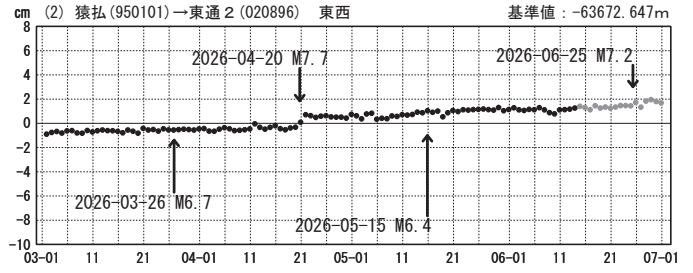
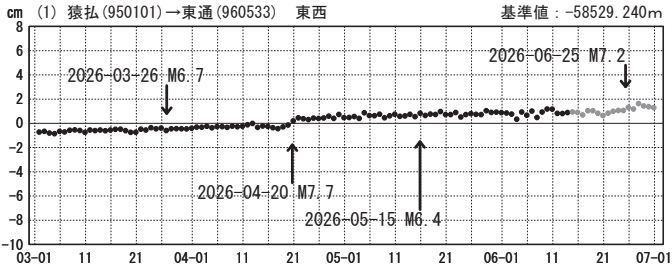
☆固定局:猿払(950101)(北海道)

※5月15日の宮城県沖の地震及び6月25日の岩手県沖の地震に伴う地殻変動を含んでいる。

# 成分変化グラフ

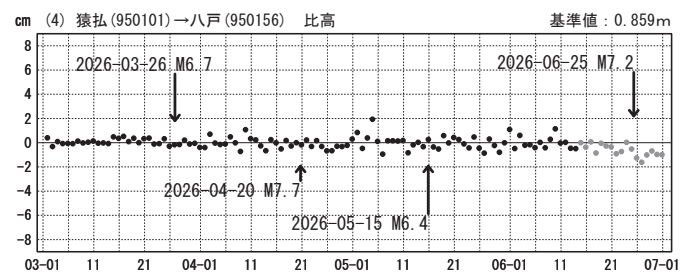
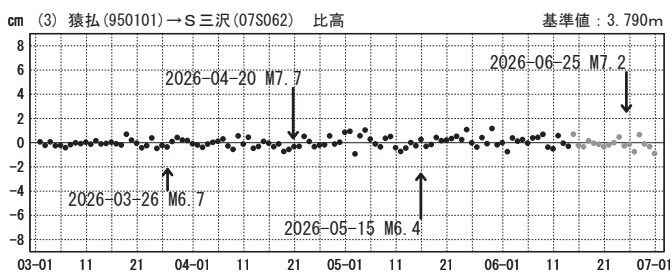
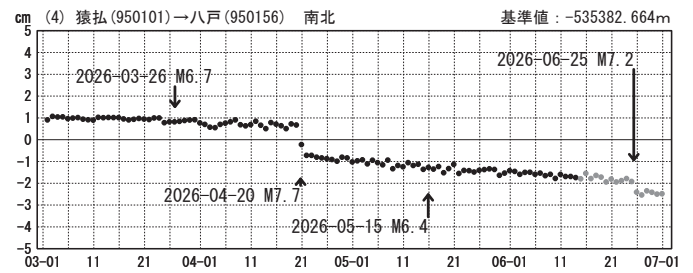
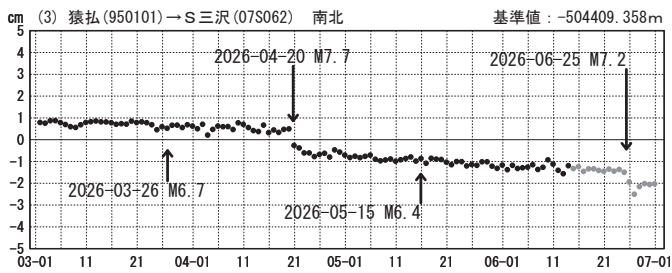
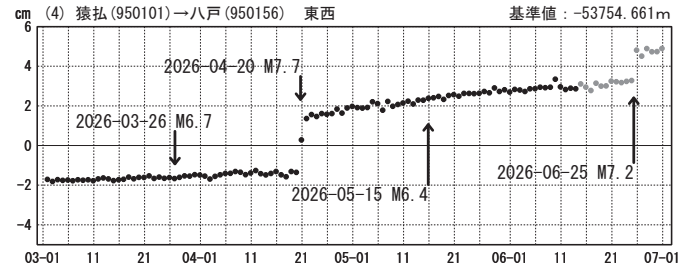
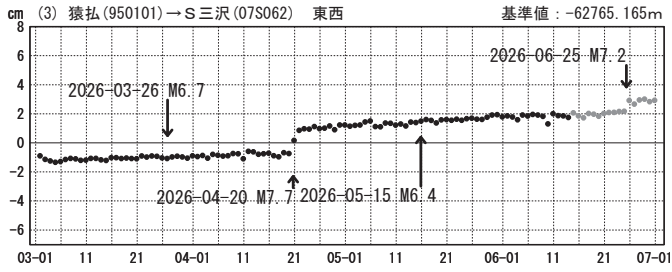
期間：2026-03-01～2026-07-01 JST

期間：2026-03-01～2026-07-01 JST



期間：2026-03-01～2026-07-01 JST

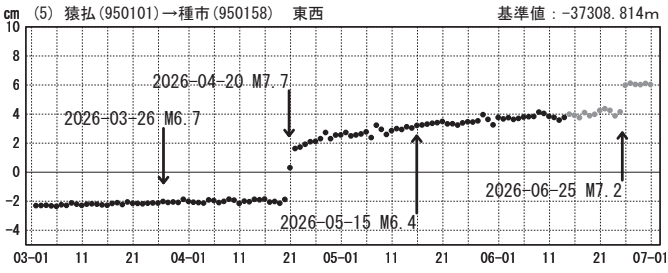
期間：2026-03-01～2026-07-01 JST



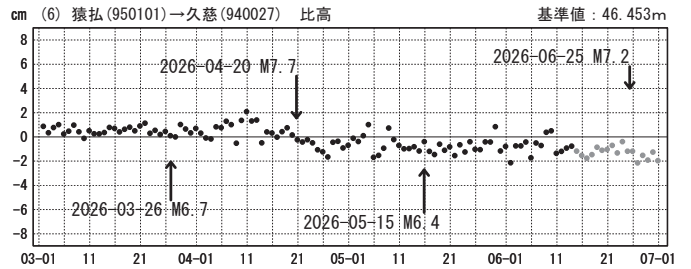
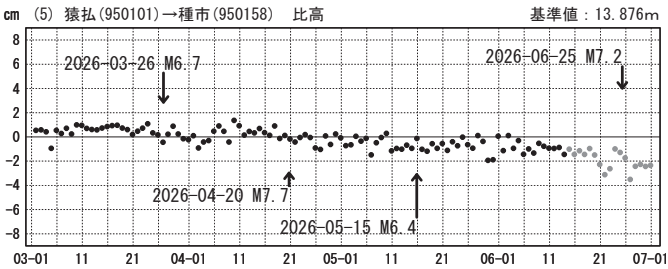
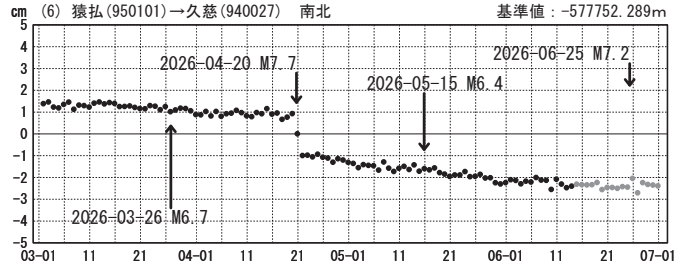
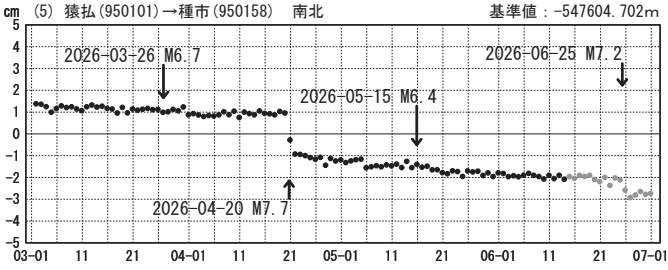
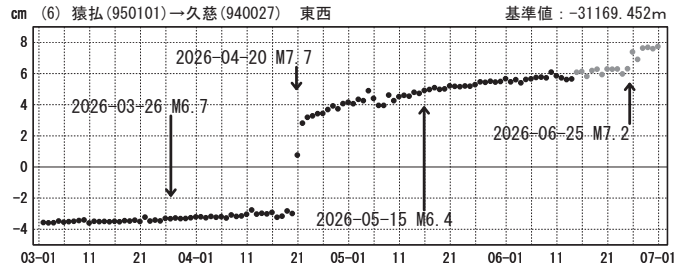
●---[F5.1:最終解]    ●---[R5.1:速報解]

# 成分変化グラフ

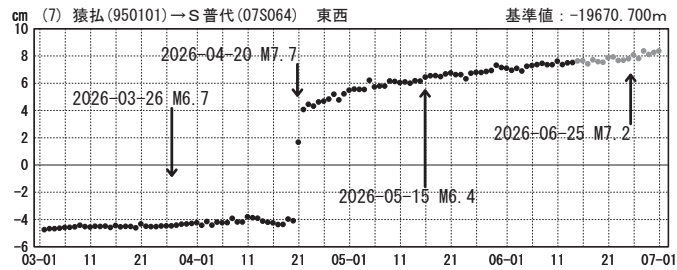
期間：2026-03-01～2026-07-01 JST



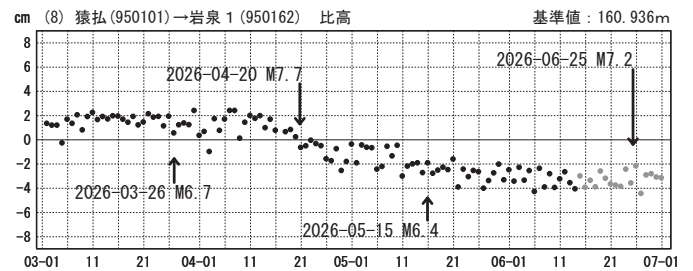
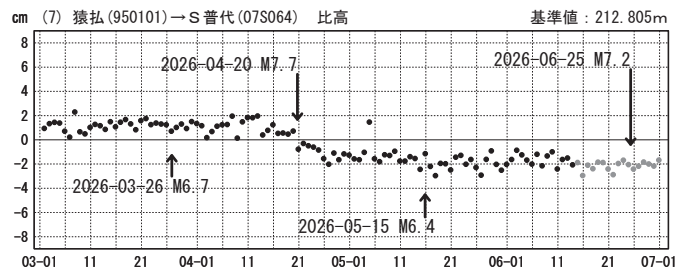
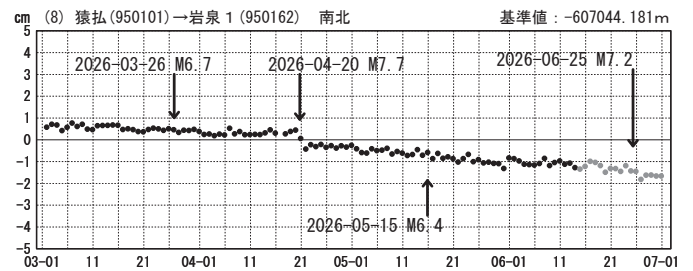
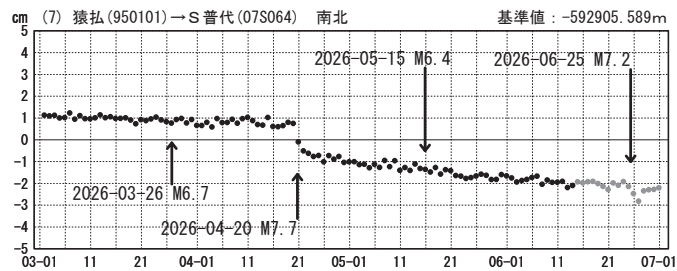
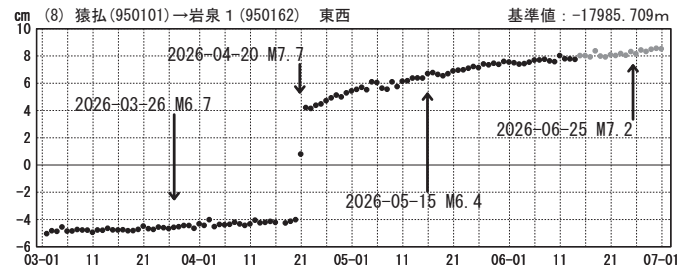
期間：2026-03-01～2026-07-01 JST



期間：2026-03-01～2026-07-01 JST



期間：2026-03-01～2026-07-01 JST

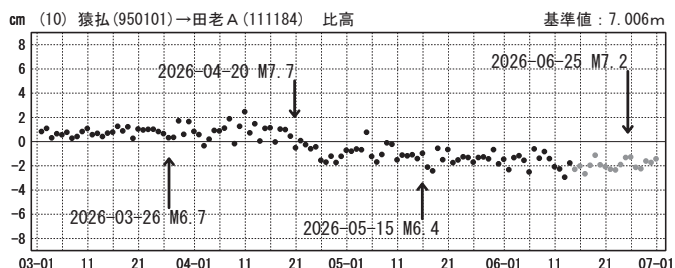
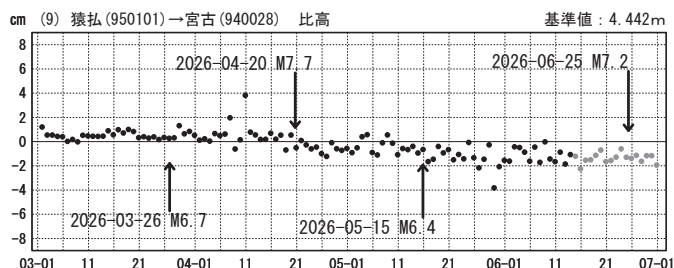
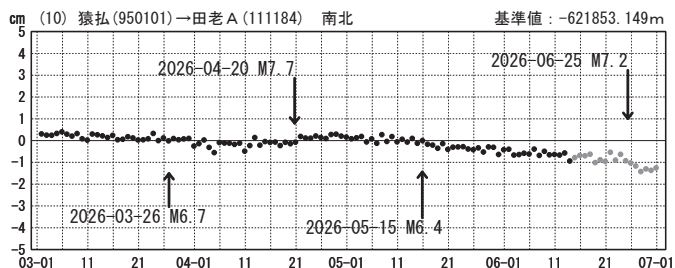
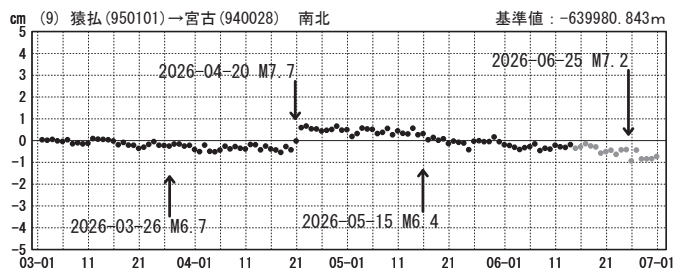
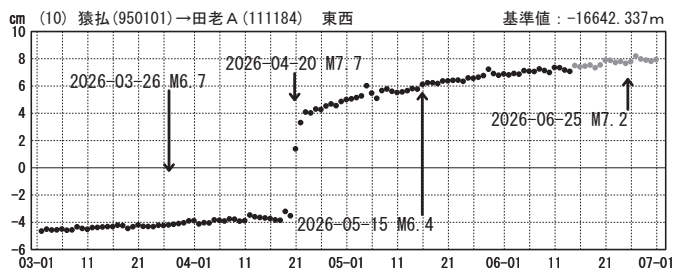
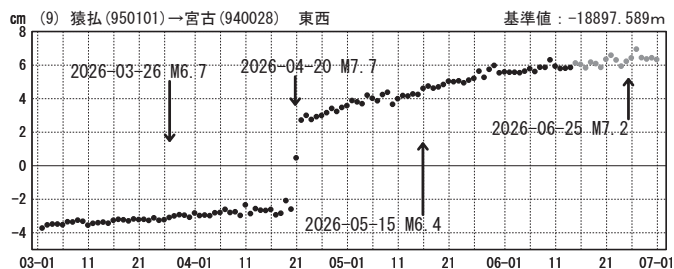


●---[F5.1:最終解] ●---[R5.1:速報解]

# 成分変化グラフ

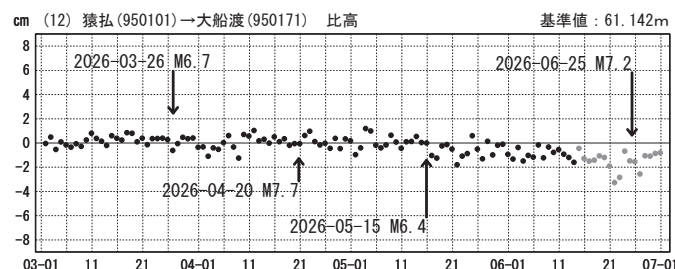
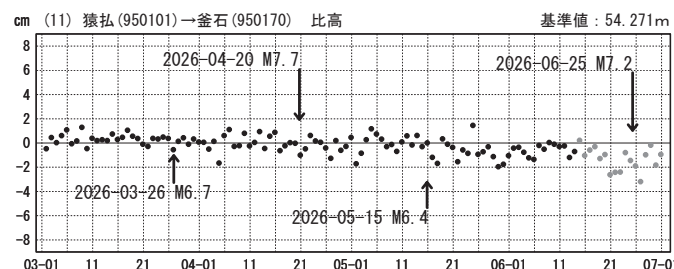
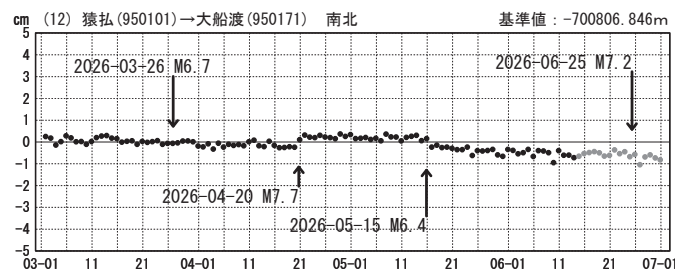
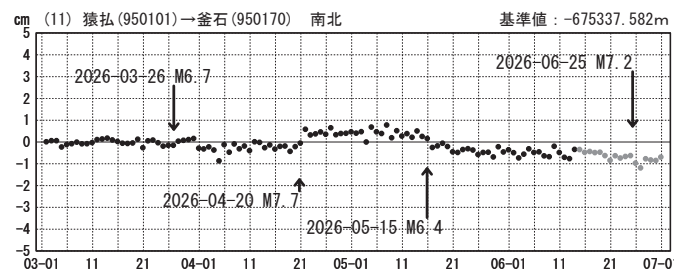
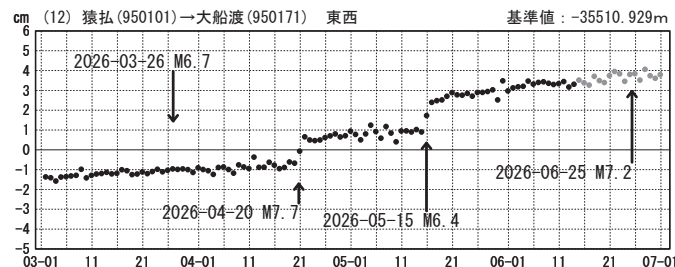
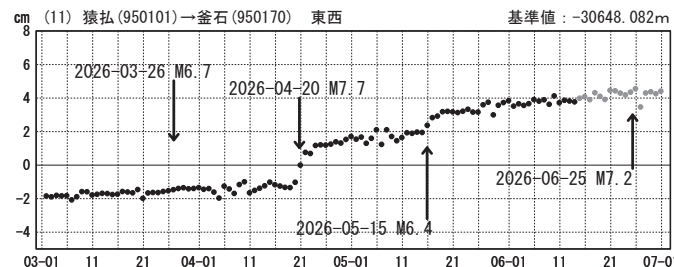
期間：2026-03-01~2026-07-01 JST

期間：2026-03-01~2026-07-01 JST



期間：2026-03-01~2026-07-01 JST

期間：2026-03-01~2026-07-01 JST

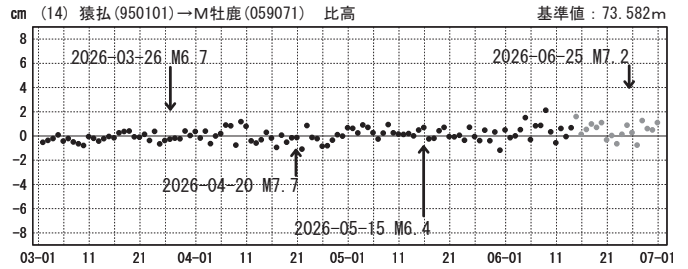
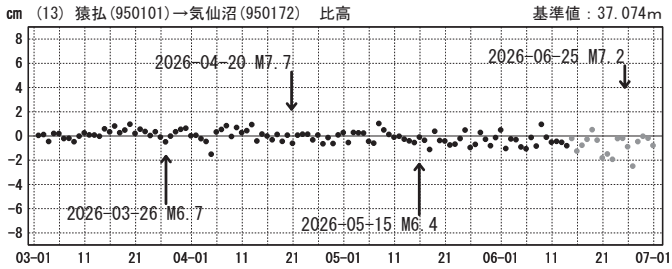
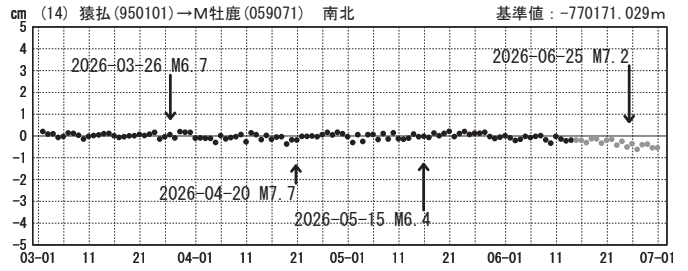
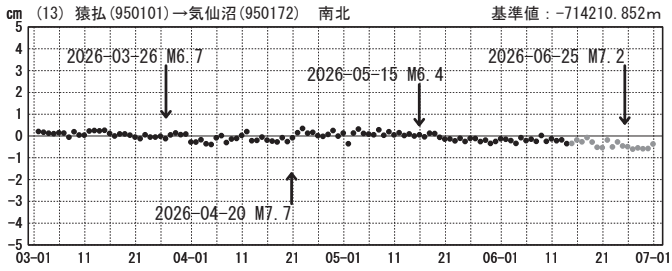
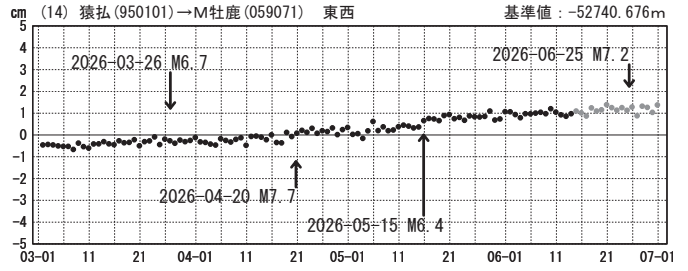
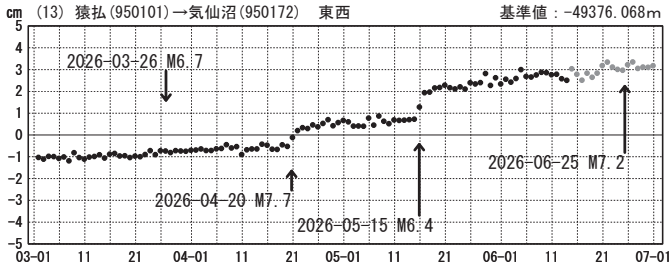


●---[F5.1:最終解] ●---[R5.1:速報解]

# 成分変化グラフ

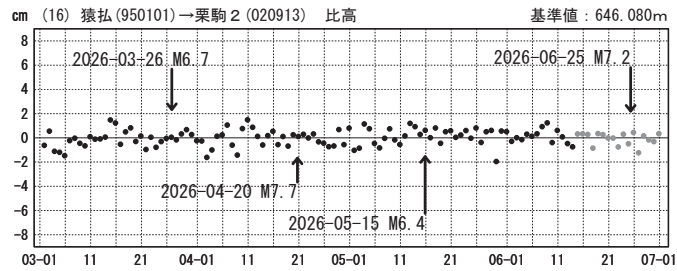
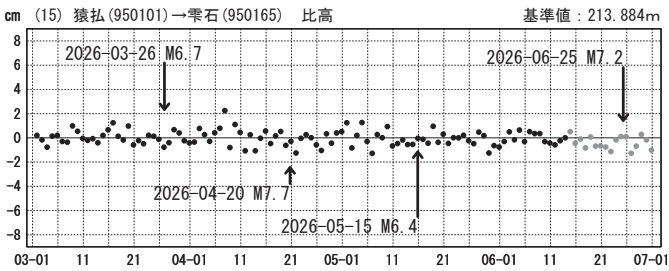
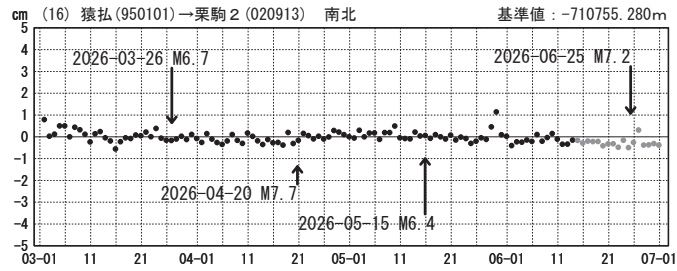
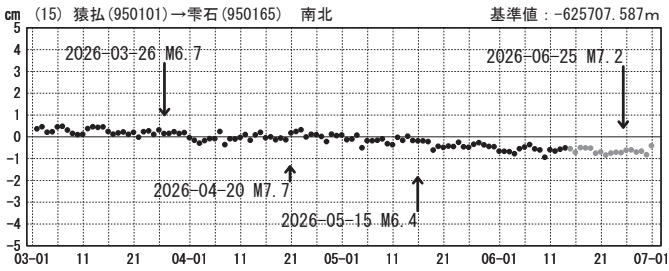
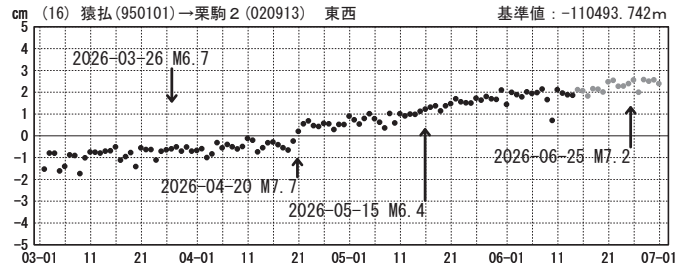
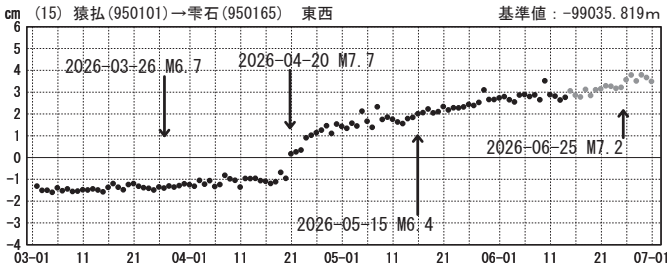
期間：2026-03-01～2026-07-01 JST

期間：2026-03-01～2026-07-01 JST



期間：2026-03-01～2026-07-01 JST

期間：2026-03-01～2026-07-01 JST

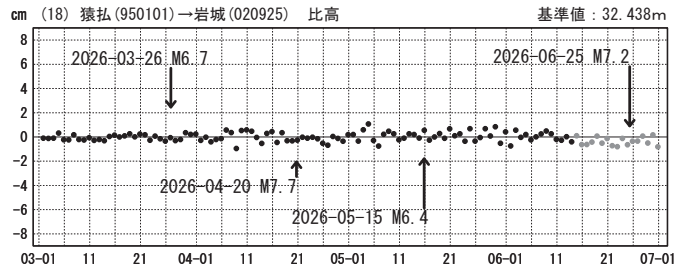
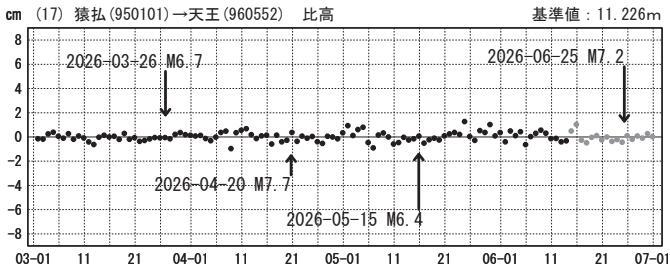
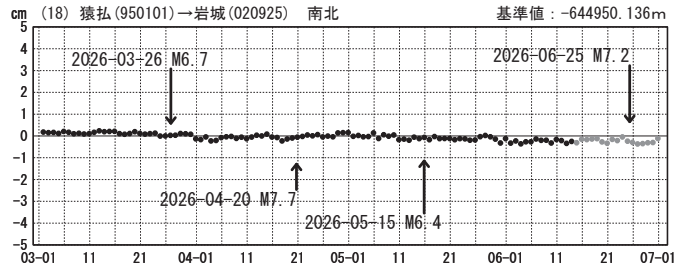
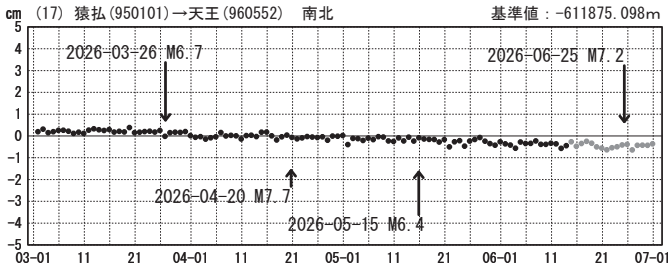
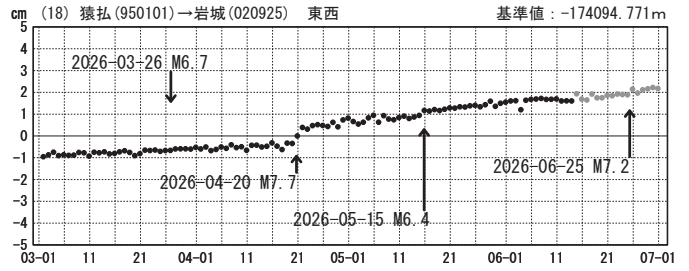
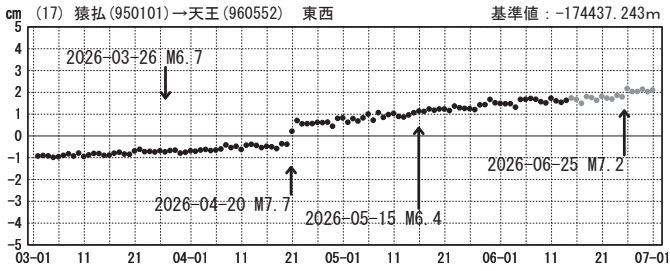


●---[F5.1:最終解] ●---[R5.1:速報解]

# 成分変化グラフ

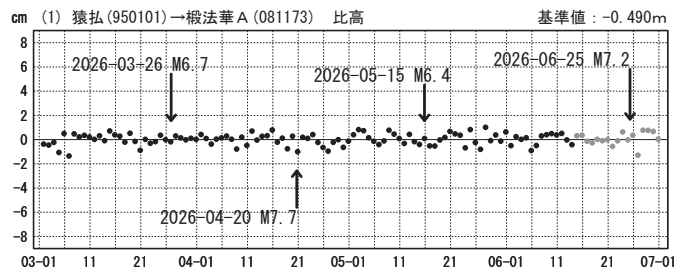
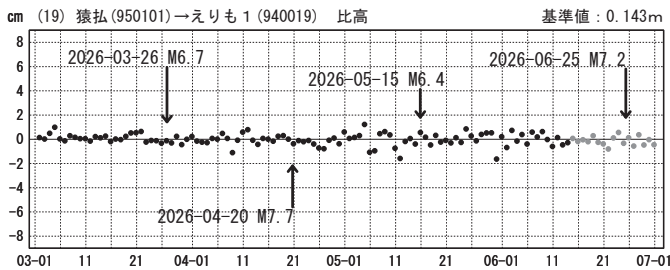
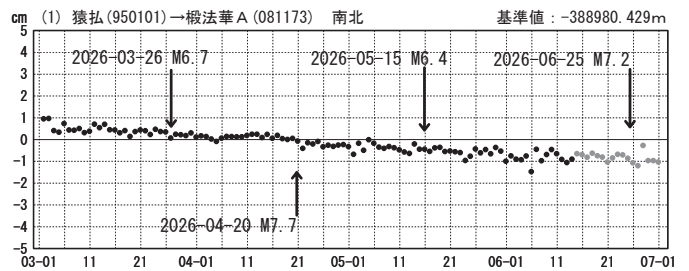
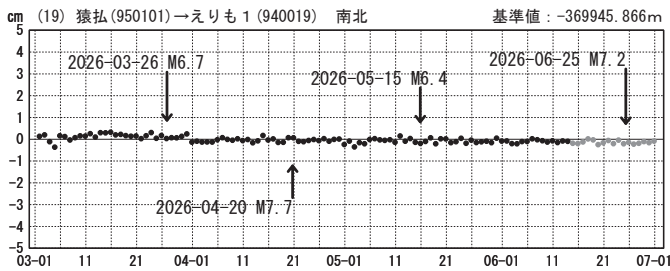
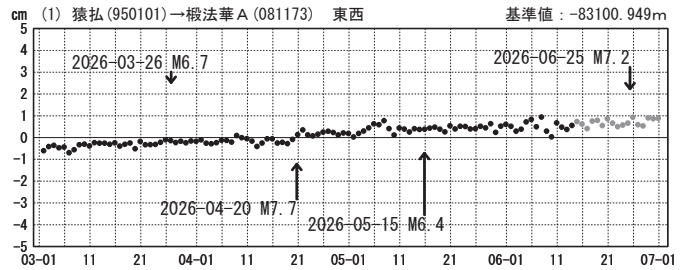
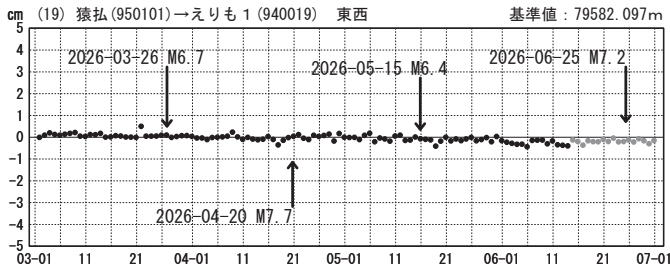
期間：2026-03-01～2026-07-01 JST

期間：2026-03-01～2026-07-01 JST



期間：2026-03-01～2026-07-01 JST

期間：2026-03-01～2026-07-01 JST

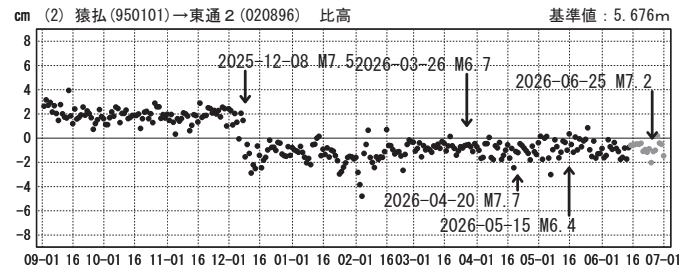
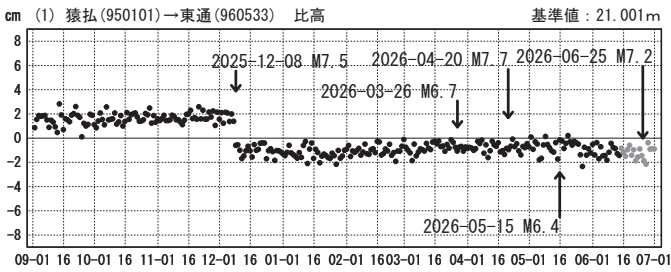
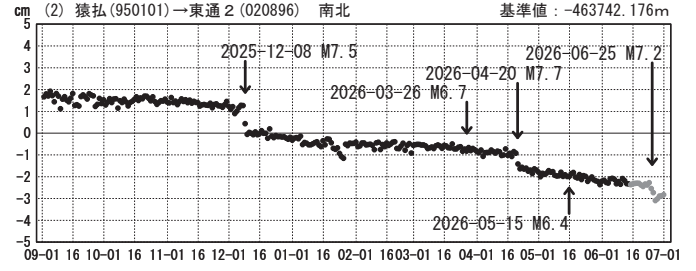
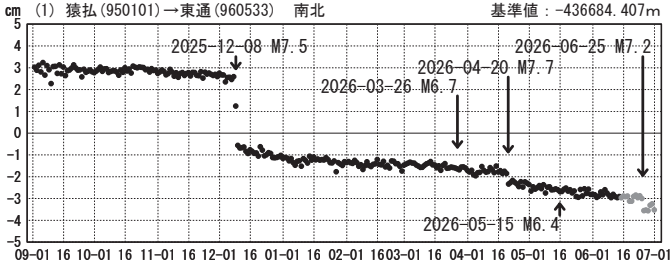
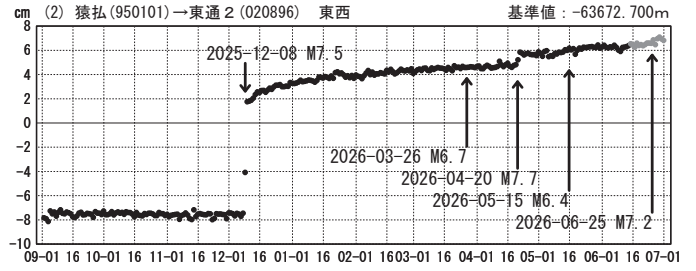
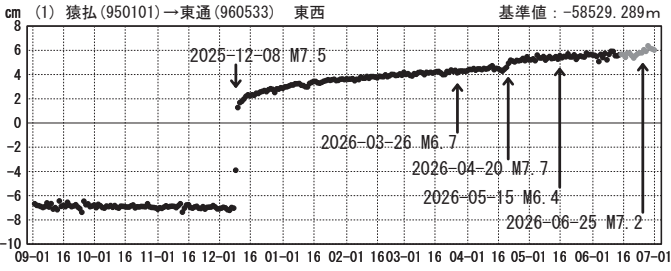


●—[F5.1:最終解] ●—[R5.1:速報解]

# 成分変化グラフ

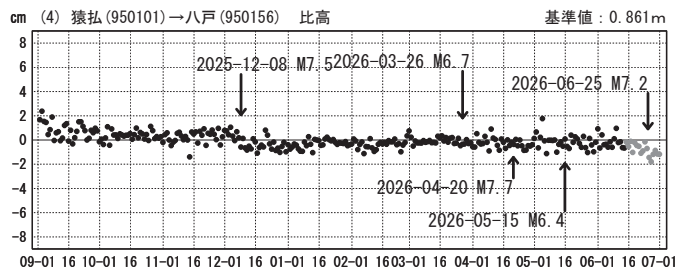
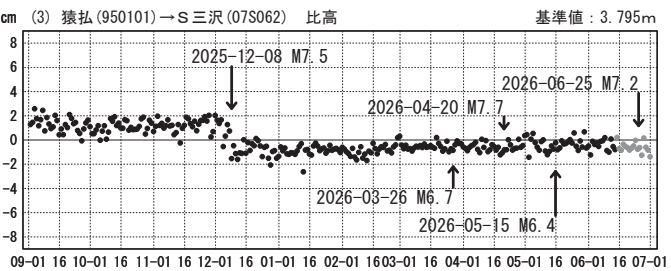
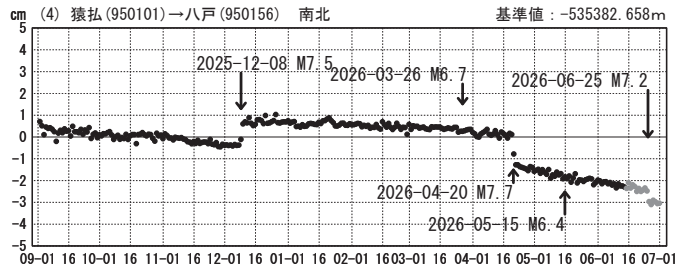
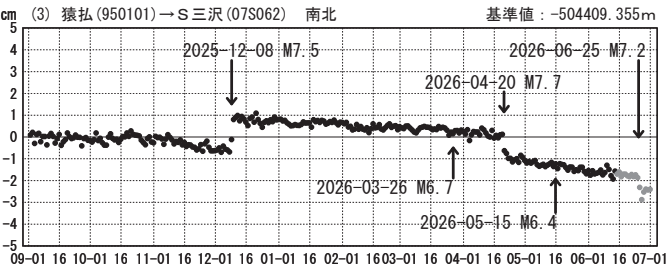
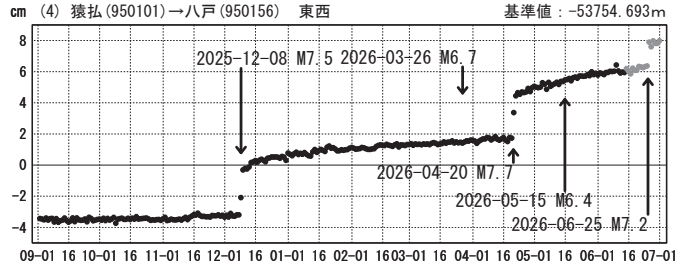
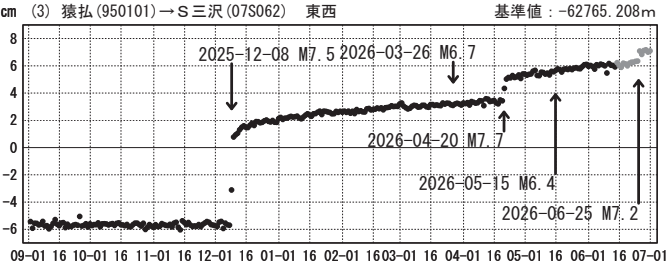
期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST



期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

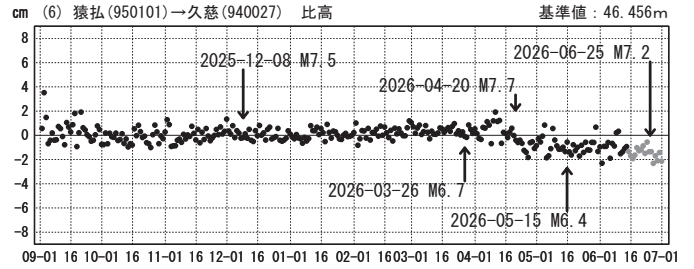
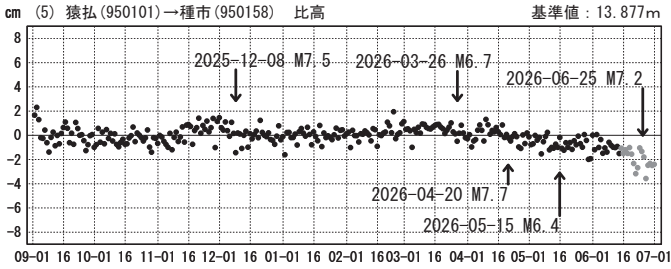
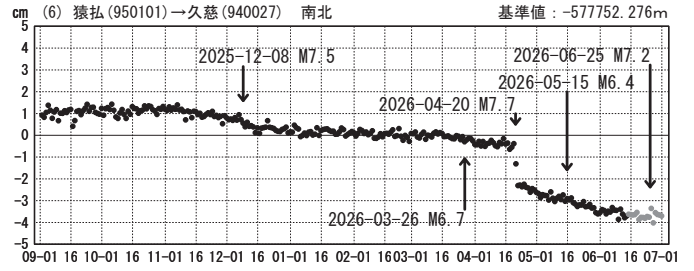
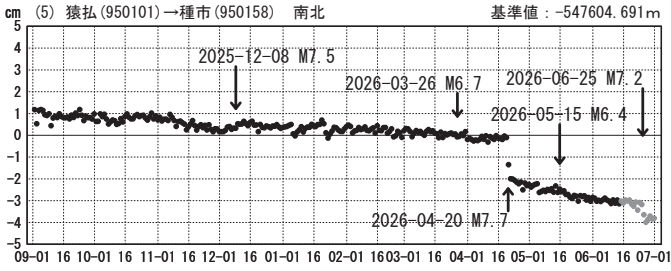
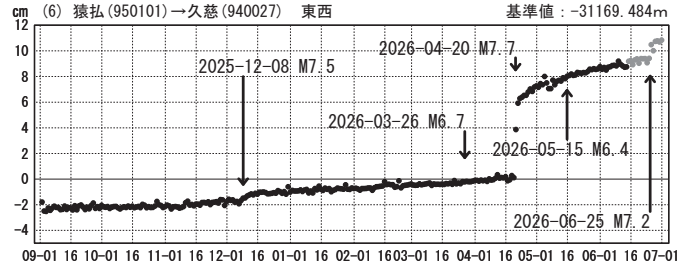
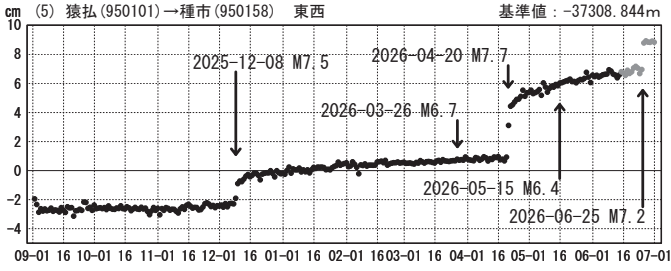


●---[F5.1:最終解]   ●---[R5.1:速報解]   ×---[Q5.1:迅速解]

# 成分変化グラフ

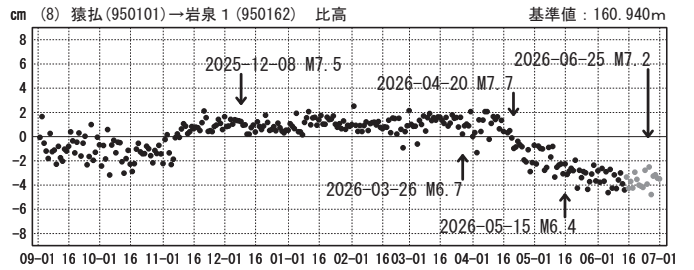
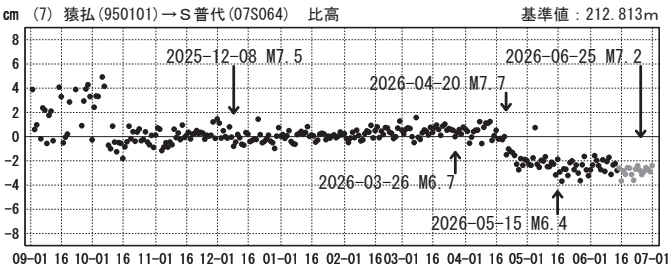
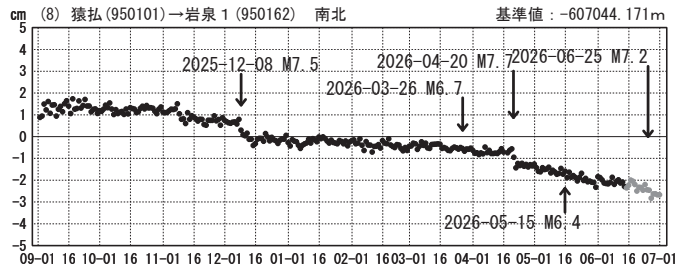
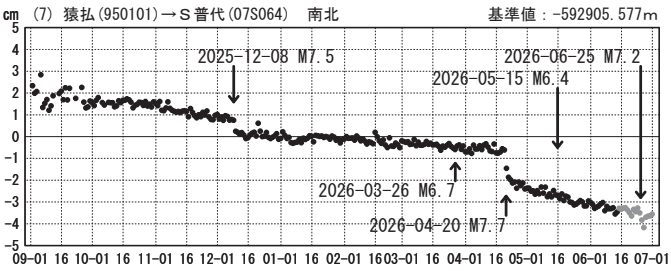
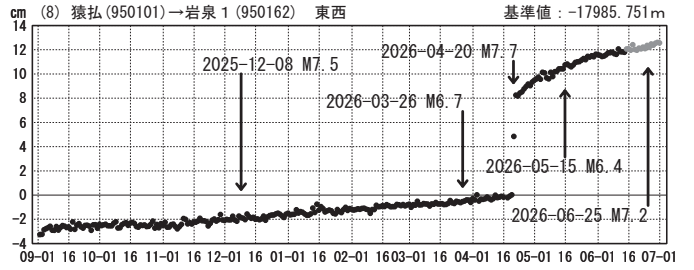
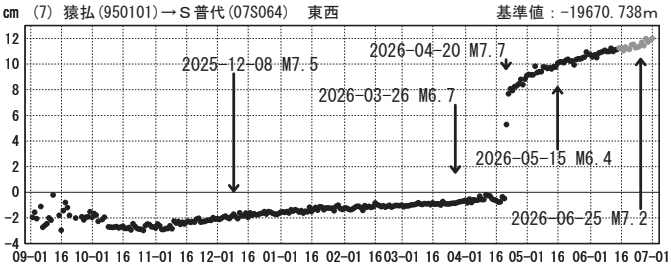
期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST



期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

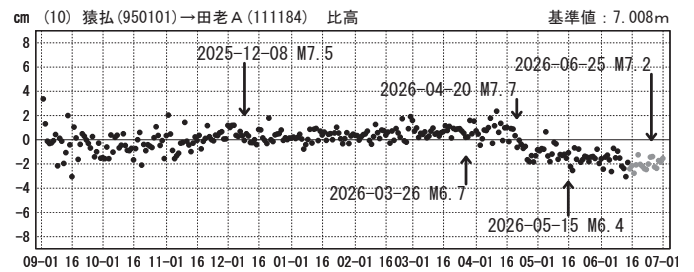
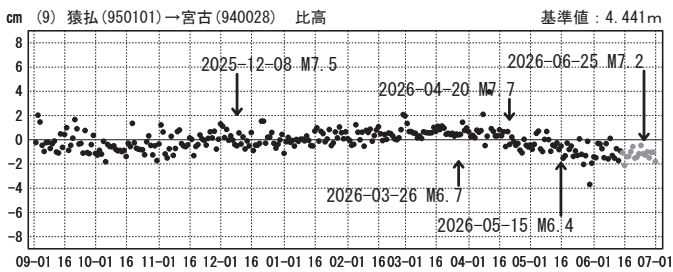
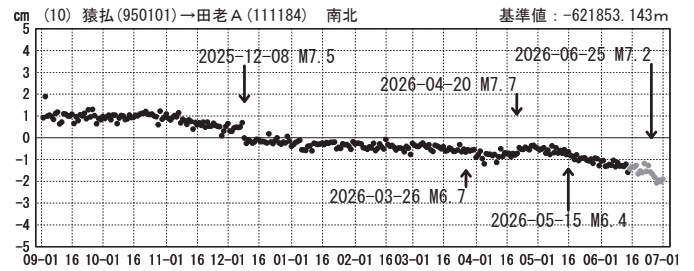
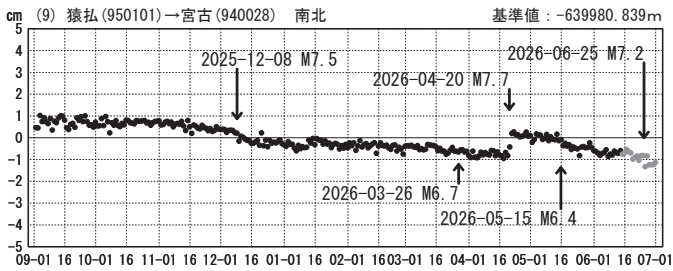
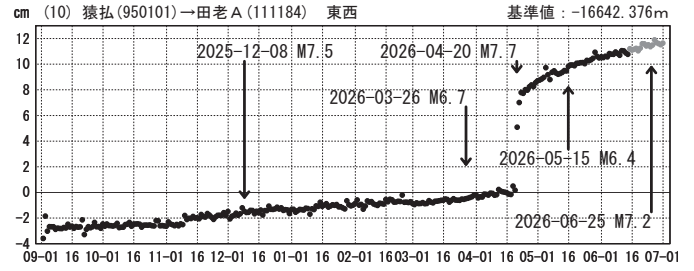
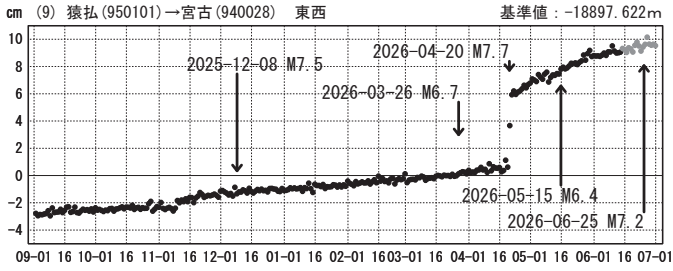


●---[F5.1:最終解] ●---[R5.1:速報解] ×---[Q5.1:迅速解]

# 成分変化グラフ

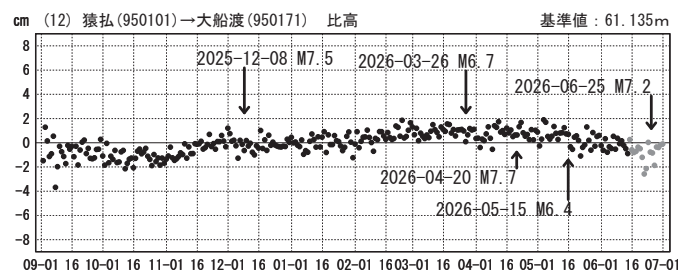
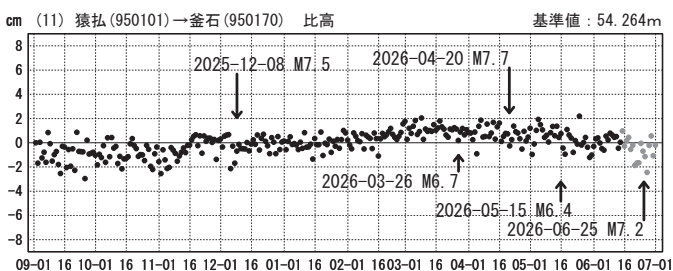
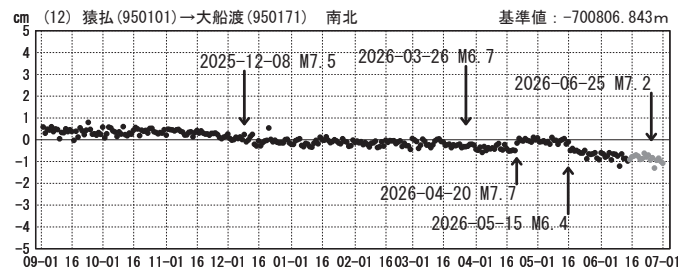
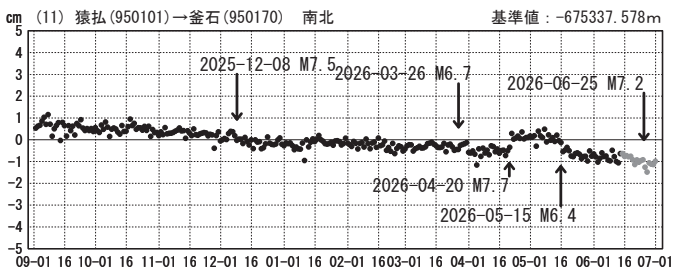
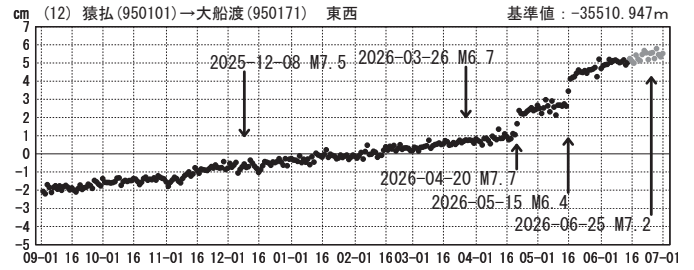
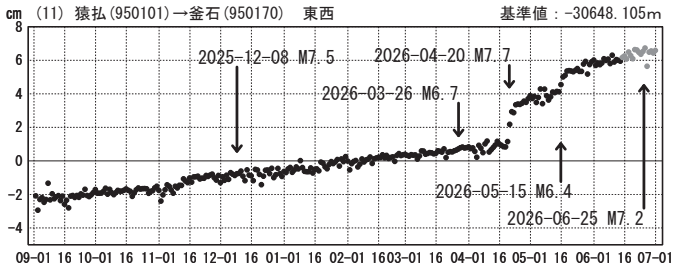
期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST



期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

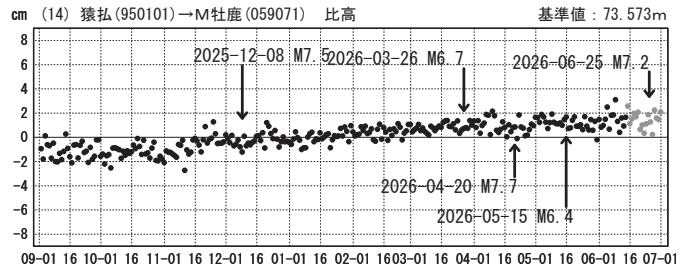
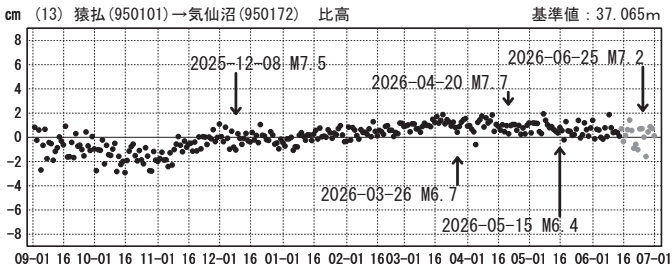
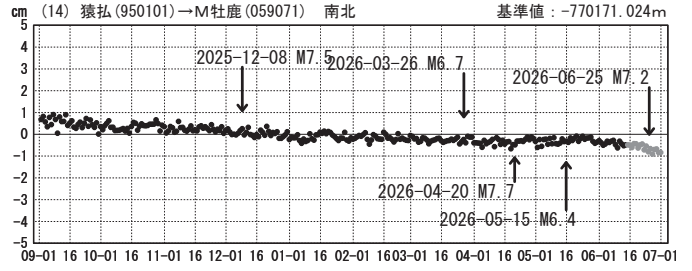
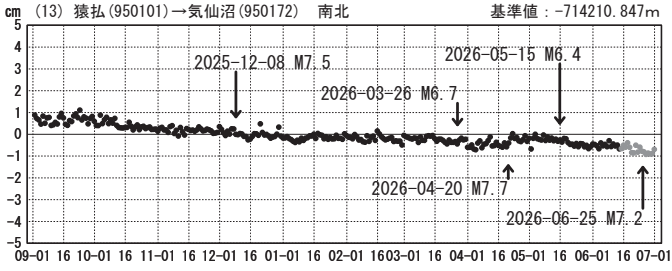
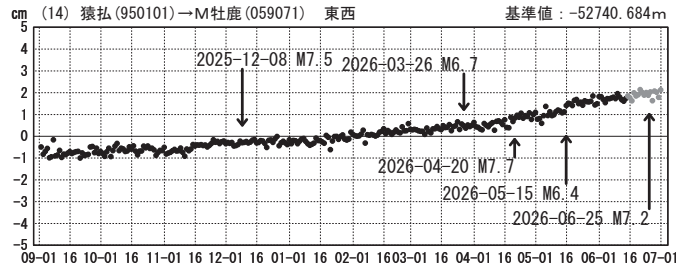
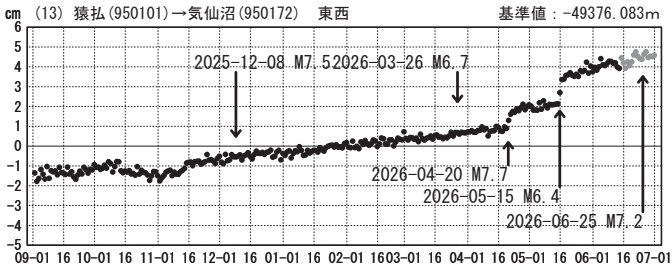


●— [F5.1:最終解]    ●--- [R5.1:速報解]

# 成分変化グラフ

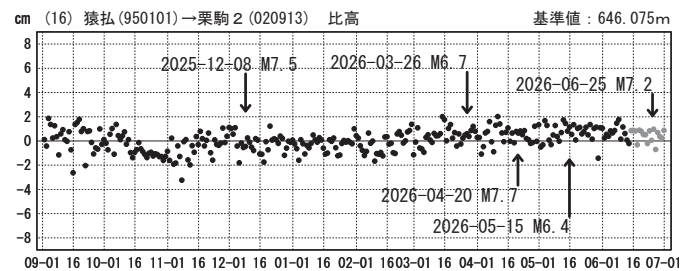
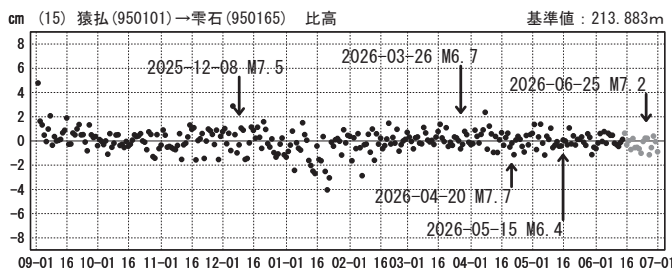
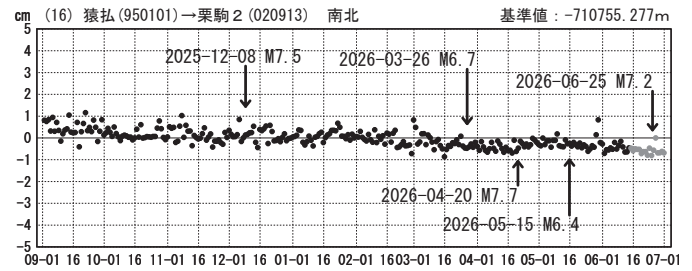
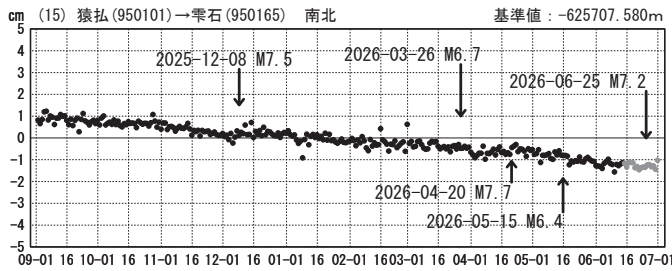
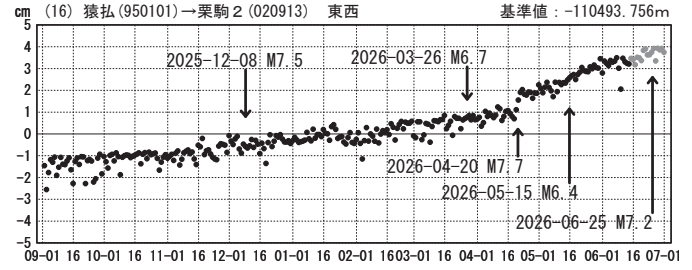
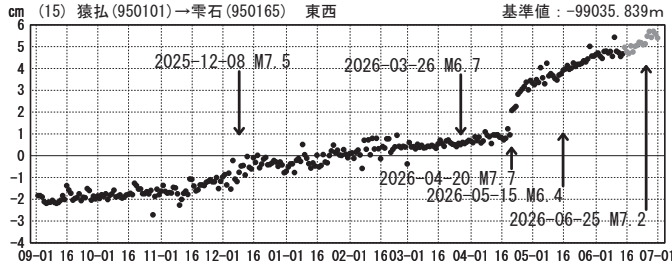
期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST



期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

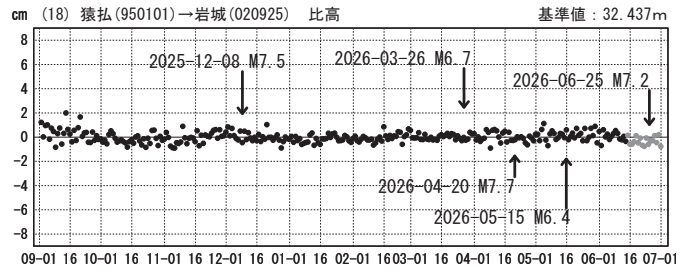
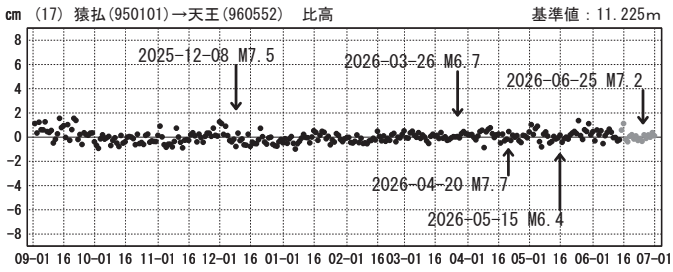
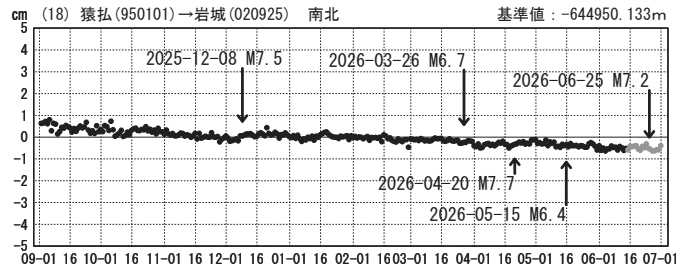
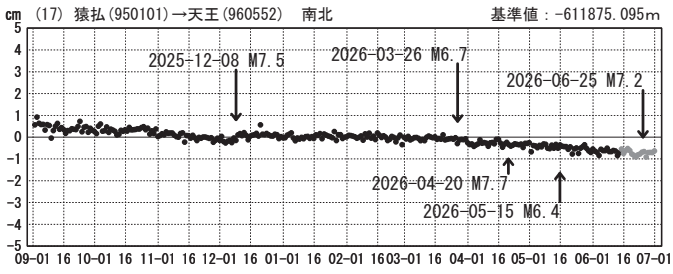
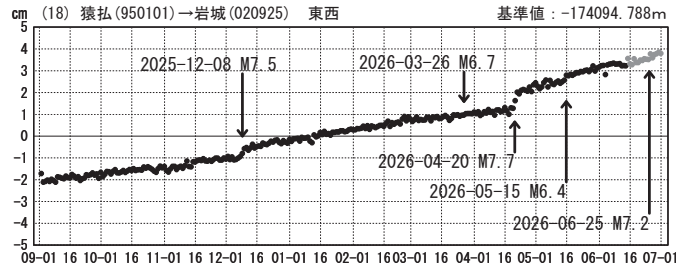
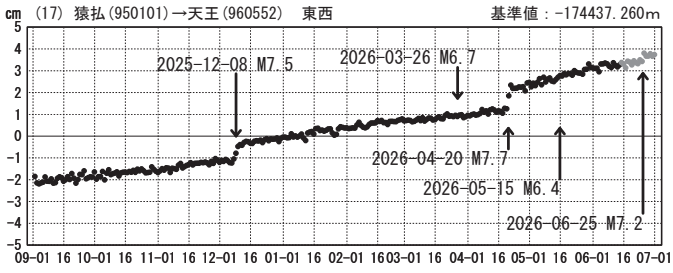


●—[F5.1:最終解]    ●—[R5.1:速報解]

# 成分変化グラフ

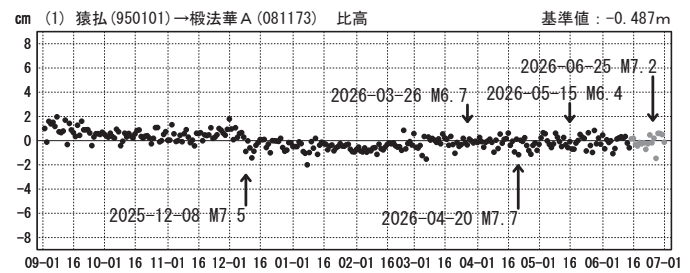
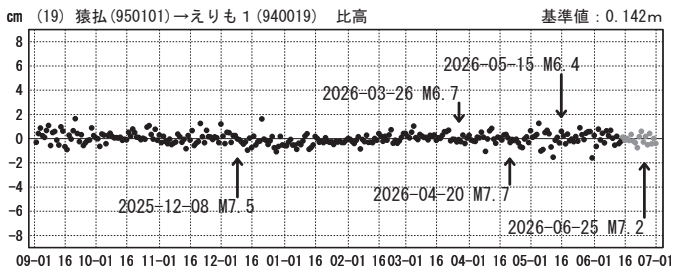
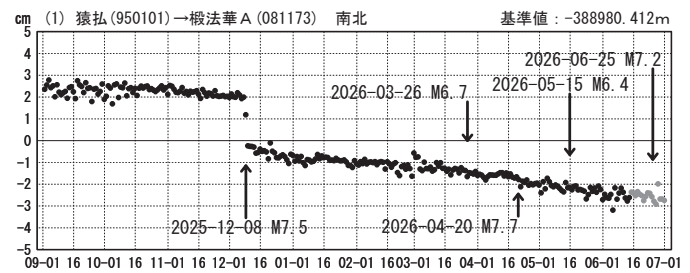
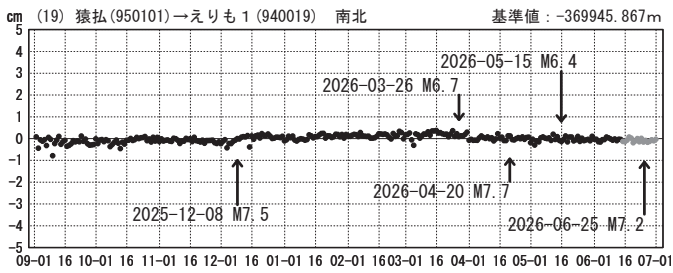
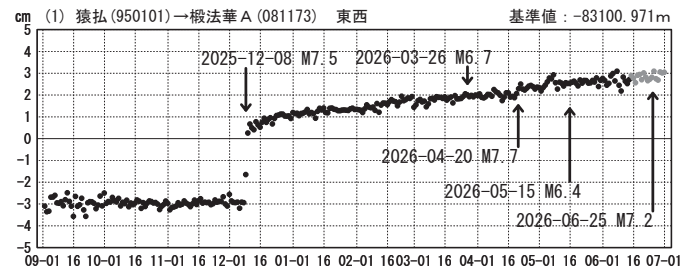
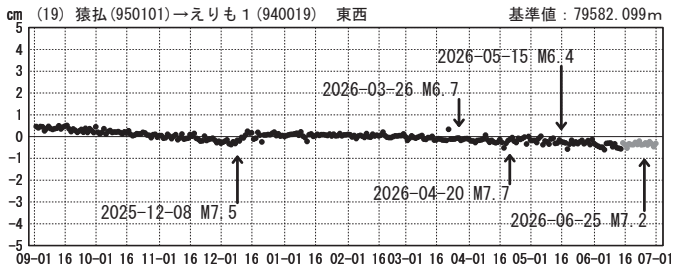
期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST



期間：2025-09-01～2026-07-01 JST

期間：2025-09-01～2026-07-01 JST



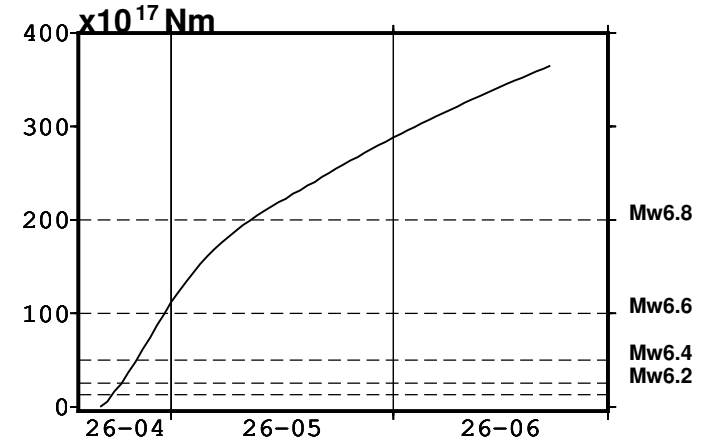
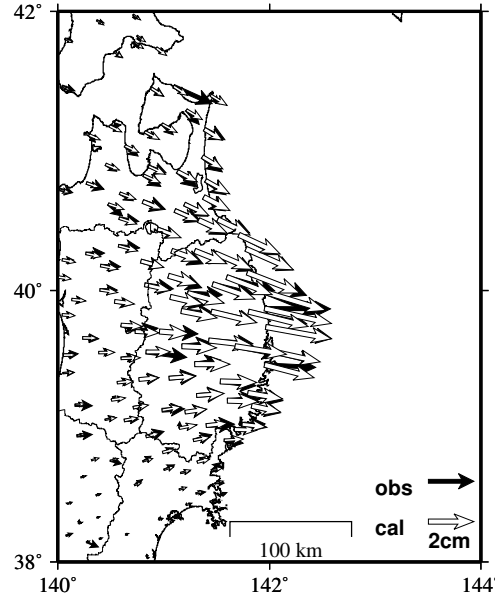
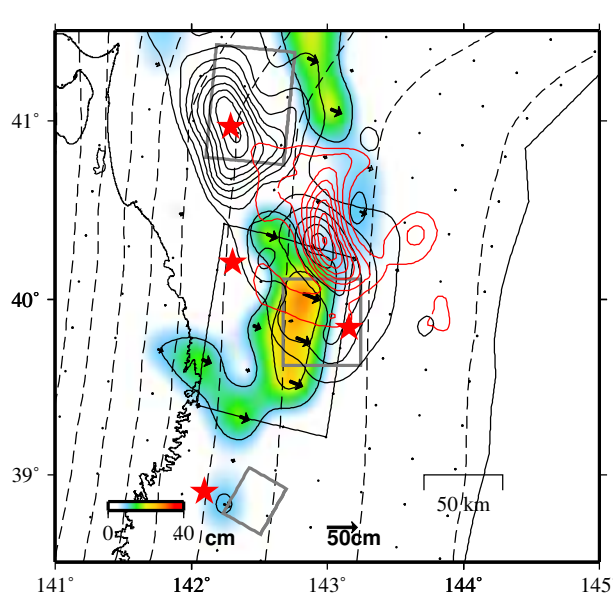
●— [F5.1:最終解]    ●--- [R5.1:速報解]

# GNSSデータから推定された東北地方のゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布  
(2026-04-21/2026-06-23☒)

観測値（黒）と計算値（白）の比較  
(2026-04-21/2026-06-23☒)

モーメント\* 時系列（試算）



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差( $\sigma$ )の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5.1解、R5.1解)

F5.1解(2025-10-01/2026-06-06☒)・R5.1解 (2026-06-07/2026-06-23☒)

トレンド期間: 2023-01-01/2024-12-31 (年周・半年周成分は補正なし)

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: 太平洋プレート上面の等深線(Nakajima & Hasegawa 2006; Kita et al. 2010)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

赤星: 2025-12-08青森県東方沖、2026-04-20三陸沖、2026-05-15宮城県沖の地震の震央（気象庁一元化震源）

矩形断層（灰）: 2025-12-08青森県東方沖、2026-04-20三陸沖、2026-05-15宮城県沖の地震

固定局: 猿払

\* 電子基準点の保守等による変動は補正している。

\* 令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。

\* 以下の地震に伴う地殻変動は補正している。

2025-11-09三陸沖の地震、2025-12-08青森県東方沖の地震、2026-03-26三陸沖の地震

2026-04-20三陸沖の地震、2026-05-15宮城県沖の地震

\* 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している(Suito 2017)

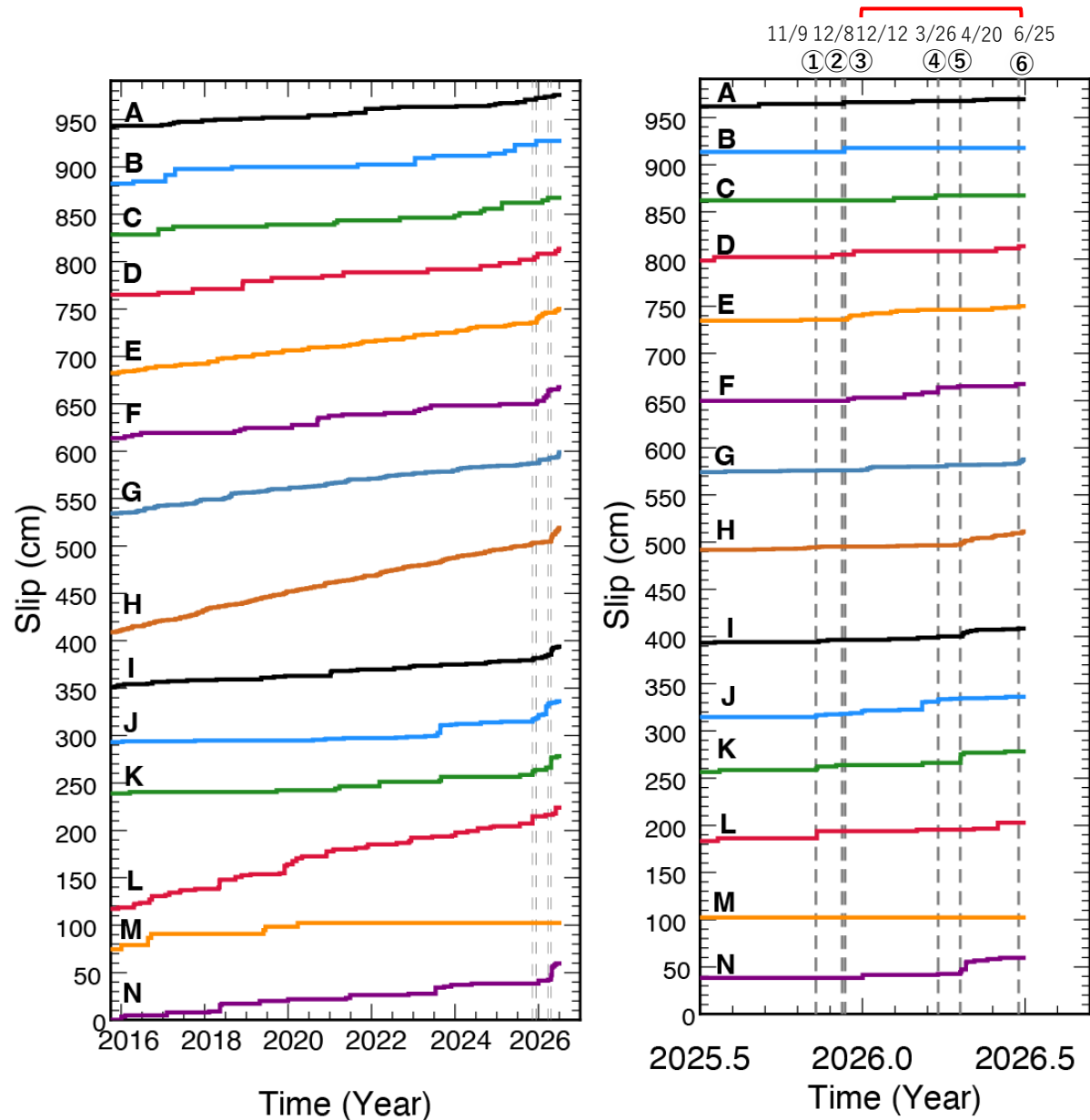
\* 2025-12-08青森県東方沖、2026-04-20三陸沖の地震の粘弾性変形は補正している(Han et al. (2014)を参考)

\* 共通誤差成分を推定している。

\* モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

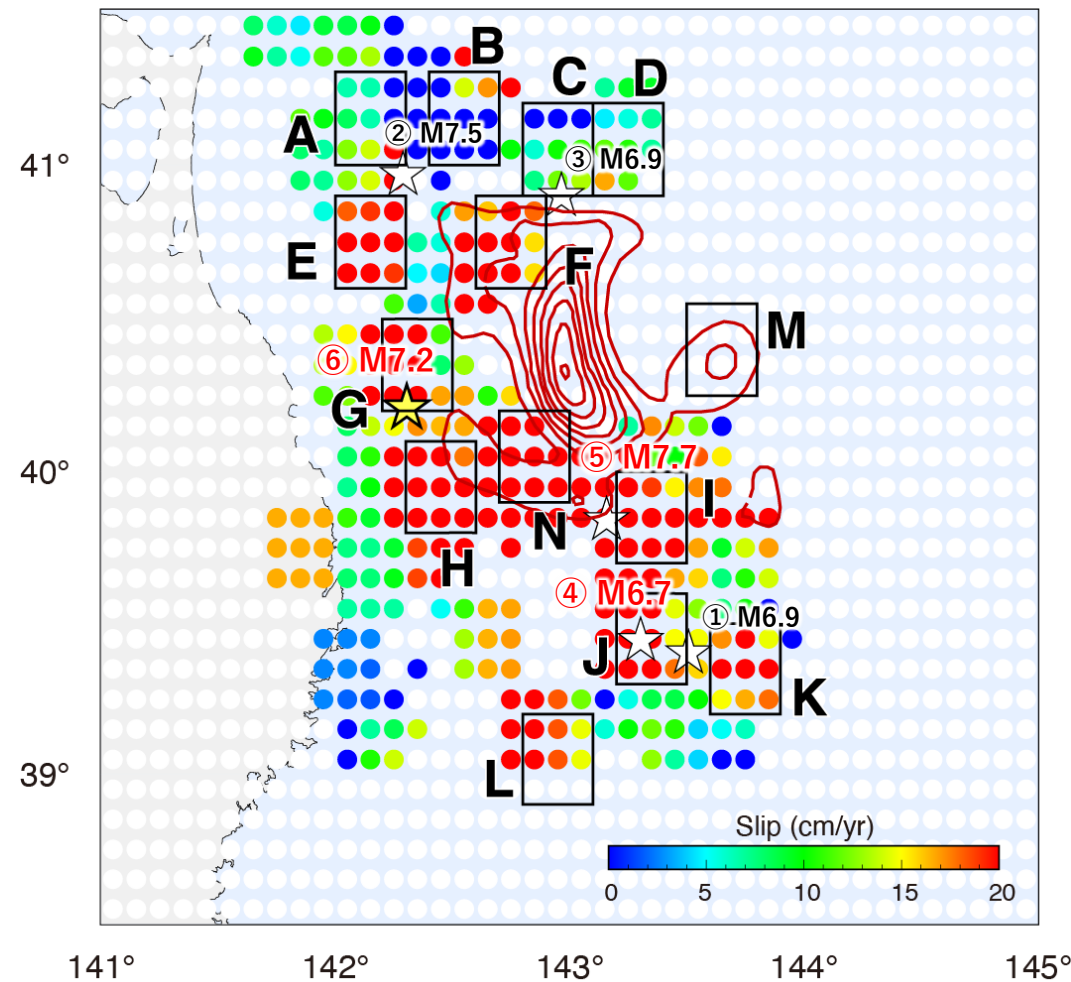
# 繰り返し地震から推定した非地震性すべりの推移

東京大学地震研究所  
繰り返し地震カタログは気象庁作成



領域ごとの繰り返し地震の積算滑り：非地震性すべりの推移を表す

2026 1/1- 6/30 (Earthquake ④-⑥ occurred)



0.3度×0.3度グリッド領域内の平均累積すべり速度を、0.1度シフトで表示  
赤コンターは永井・他(2001)による1994年三陸はるか沖地震のすべり分布、緑はYamanaka and Kikuchi (2004)による1989年三陸沖M7.1の地震のすべり分布

繰り返し地震データ：2015/10/26 -2026/5/31

# 青森県東方沖から三陸沖の地震活動域比較

震央分布図

(1994年12月28日～1995年1月31日及び2025年11月1日

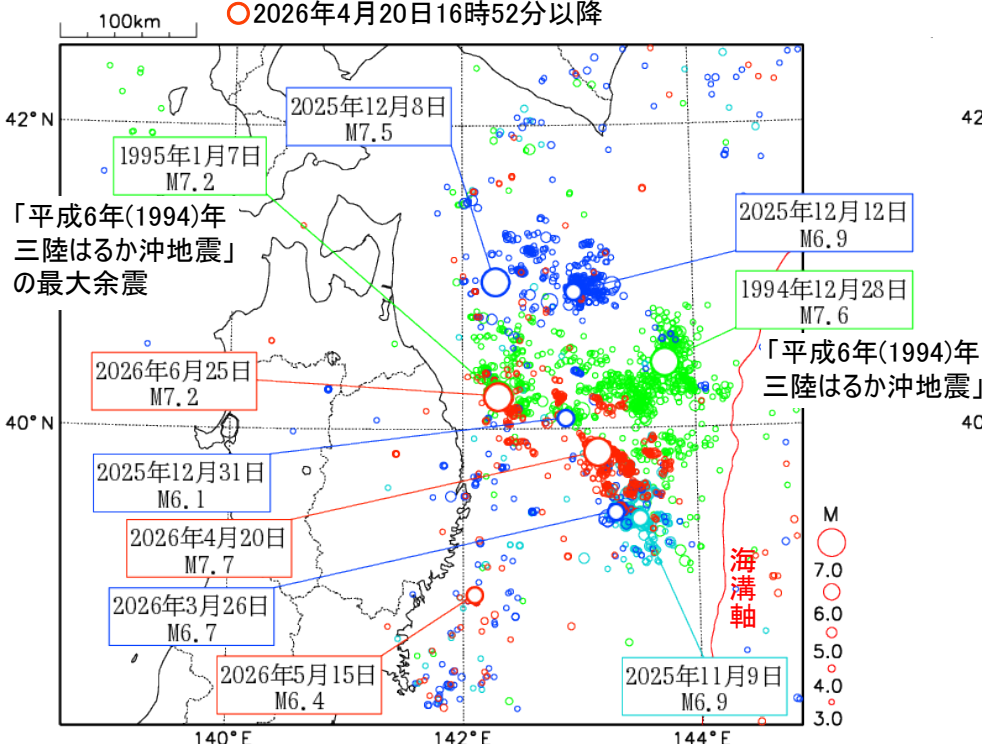
～2026年6月30日、深さ0～90km、 $M \geq 3.0$ )

● 1994年12月28日～1995年1月31日

● 2025年11月1日～2025年12月8日23時14分

● 2025年12月8日23時15分～2026年4月20日16時51分

● 2026年4月20日16時52分以降



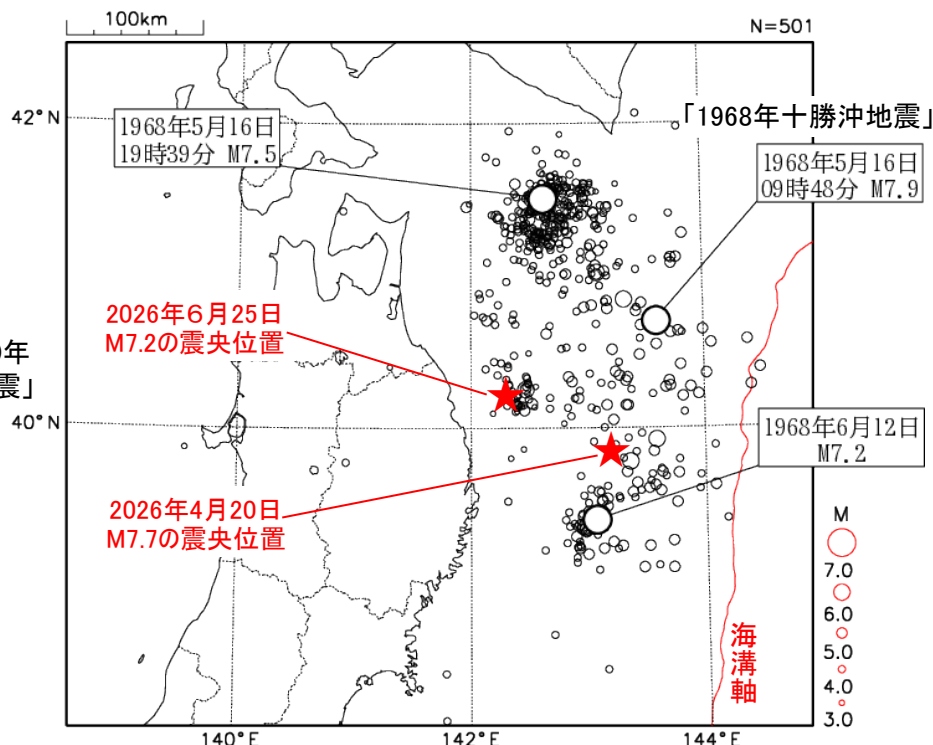
「平成6年(1994)年  
三陸はるか沖地震」  
の最大余震

「平成6年(1994)年  
三陸はるか沖地震」

震央分布図

(1968年5月16日～1968年6月15日、

深さ0～90km、 $M \geq 3.0$ )



2026年6月25日  
M7.2の震央位置

2026年4月20日  
M7.7の震央位置

1968年5月16日  
19時39分 M7.5

「1968年十勝沖地震」

1968年5月16日  
09時48分 M7.9

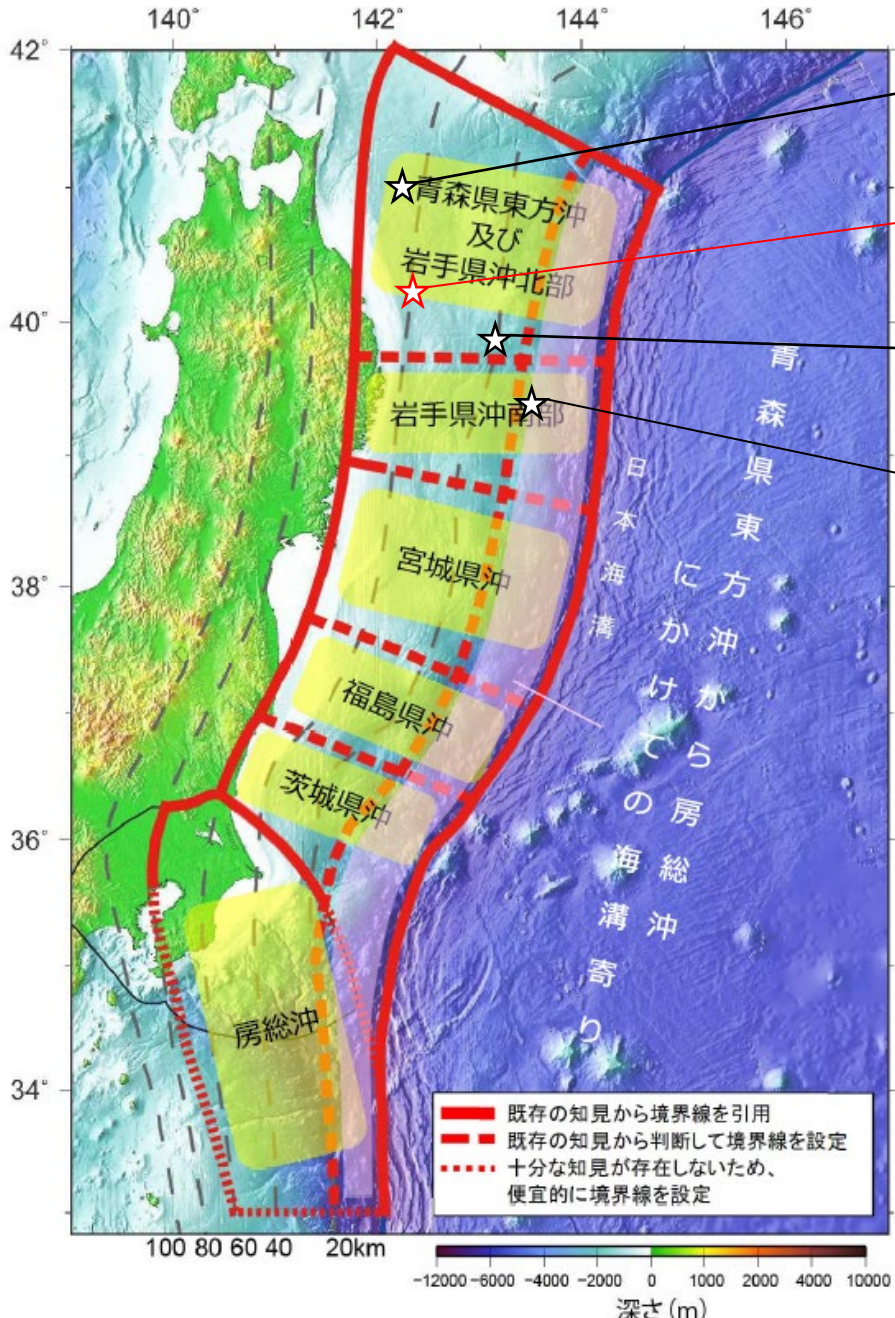
1968年6月12日  
M7.2

左図には、「平成6年(1994)年三陸はるか沖地震」の約1か月分の地震活動域、2025年11月9日三陸沖の地震活動域、2025年12月8日青森県東方沖の地震活動域及び2026年4月20日三陸沖の地震活動域等を示している。

右図には、「1968年十勝沖地震」の約1か月分の地震活動域を示している。

- ・「平成6年(1994)年三陸はるか沖地震」、2025年11月及び2026年4月の三陸沖の地震、2025年12月の青森県東方沖の地震の活動域は、すみ分けているように見える。
- ・「1968年十勝沖地震」の活動域は、上記の活動域を包含するように広がっている。
- ・2026年6月25日の岩手県沖の地震(M7.2)は、「平成6年(1994)年三陸はるか沖地震」の最大余震(1995年1月7日、M7.2)とほぼ同じ場所で発生している。

# 長期評価の対象領域と今回の地震



2025/12/8 54 km M7.5

2026/6/25 44 km M7.2

2026/04/20 19 km M7.7

2025/11/9 15 km M6.9

青森県東方沖及び岩手県沖北部、宮城県沖以外の領域については、ほぼ同一の震源域で繰り返し発生している規模の大きな地震は知られていない。超巨大地震(東北地方太平洋沖型)については、宮城県沖を必ず含み、隣接する領域(岩手県沖南部または福島県沖)の少なくとも一方にまたがり、場合によっては茨城県沖まで破壊が及ぶ可能性のある地震であると考えた。

～

評価対象領域の区域分けに関して、大地震の記録が比較的多く残っている青森県東方沖及び岩手県沖北部については、1968年十勝沖地震を当該海域で発生する代表例と考えて設定した。

# 今後30年以内の地震発生確率 (2026年1月1日時点)

将来発生する地震の評価

## 日本海溝沿いの地震 (「日本海溝沿いの地震活動の長期評価」 (平成31年2月公表) より)

評価対象地震	発生領域	規模	ランク	地震発生確率 (30年以内)	評価に使用した地震	地震後 経過率 <sup>注2</sup>
超巨大地震 (東北地方太平洋沖型)	岩手県沖南部～ 茨城県沖	M9.0程度	Iランク	ほぼ0%	過去約3000年間の5回	0.02- 0.03
プレート間 巨大地震	青森県東方沖及び岩 手県沖北部	M7.9程度	IIIランク	20～40%	1677年以降の4回	0.59
	宮城県沖	M7.9程度	IIランク	20%程度	1793年以降の3回 <sup>注1</sup>	—
ひとまわり小さい プレート間地震	青森県東方沖及び岩 手県沖北部	M7.0～7.5程度	IIIランク	90%程度 以上	1923年以降の10回 <sup>注1</sup>	—
	岩手県沖南部	M7.0～7.5程度	IIIランク	30%程度	1923年以降の1回 <sup>注1</sup>	—
	宮城県沖	M7.0～7.5程度	IIIランク	90%程度	1923年以降の6～7回 <sup>注1</sup>	—
	宮城県沖の陸寄り (宮城県沖地震)	M7.4前後	IIIランク	80%～90%程度 以上	1897年以降の4回	0.39
	福島県沖	M7.0～7.5程度	IIIランク	50%程度	1923年以降の2回 <sup>注1</sup>	—
	茨城県沖	M7.0～7.5程度	IIIランク	80%程度	1923年以降の5回 <sup>注1</sup>	—
海溝寄りのプレート間 地震 (津波地震等)	青森県東方沖から房総沖に かけての海溝寄り	Mt8.6～9.0 <sup>注3</sup>	IIIランク	30%程度	1600年以降の4回 <sup>注1</sup>	—
沈み込んだプレート内 の地震	青森県東方沖及び岩手県沖 北部～茨城県沖	M7.0～7.5程度	IIIランク	60～70%	1923年以降の3～4回 <sup>注1</sup>	—
海溝軸外側の地震	日本海溝の海溝軸外側	M8.2前後	IIランク	7%	1600年以降の1回 <sup>注1</sup>	—

<sup>注1</sup> 東北地方太平洋沖地震より後の期間は除いた

<sup>注2</sup> 地震後経過率 = 最新発生時期からの経過時間 ÷ 平均発生間隔

—は時間が経過しても地震の起こりやすさが変わらないと仮定した地震

<sup>注3</sup> Mtは津波マグニチュード